

Vol. 3

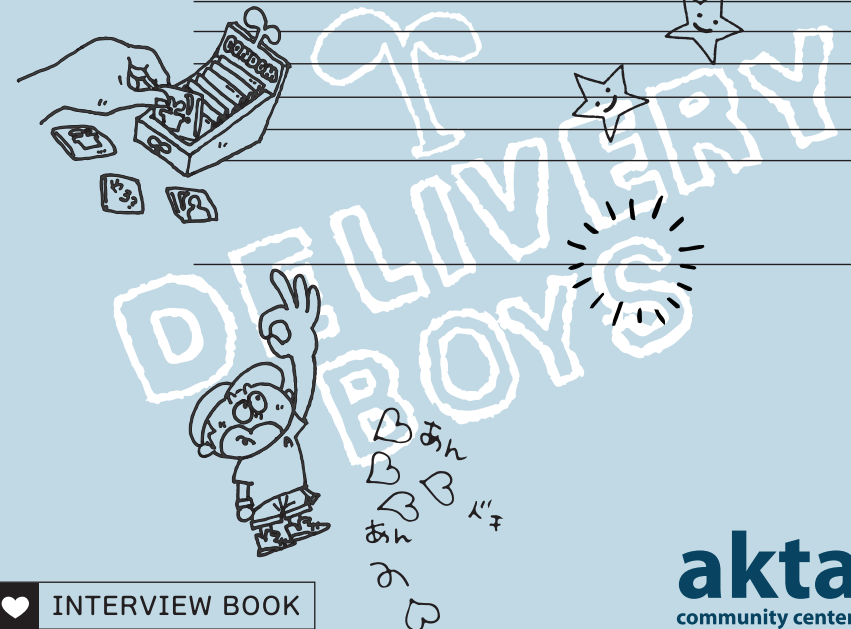
完結編



DELIVERY
BOYS

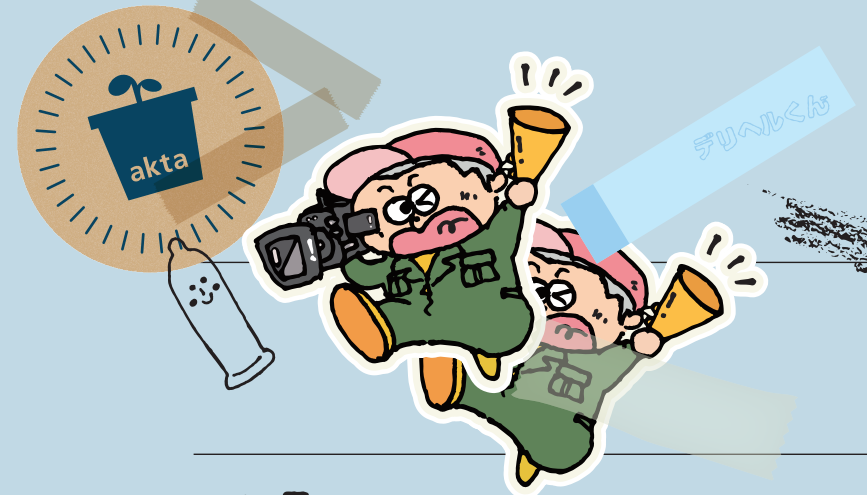


DELIVERY
BOYS



INTERVIEW BOOK

akta
community center



デリヘルくんが聞く! akta monthly schedule 特別編集 大撃 インタビュー!! Vol. 3



この冊子は、community center aktaが毎月発行している「akta monthly schedule」で、2024年1月号まで掲載を行っていた「デリヘルくんが聞く!突撃インタビュー!!」より、2021年1月号～2024年1月号までのインタビュー内容を掲載しています。

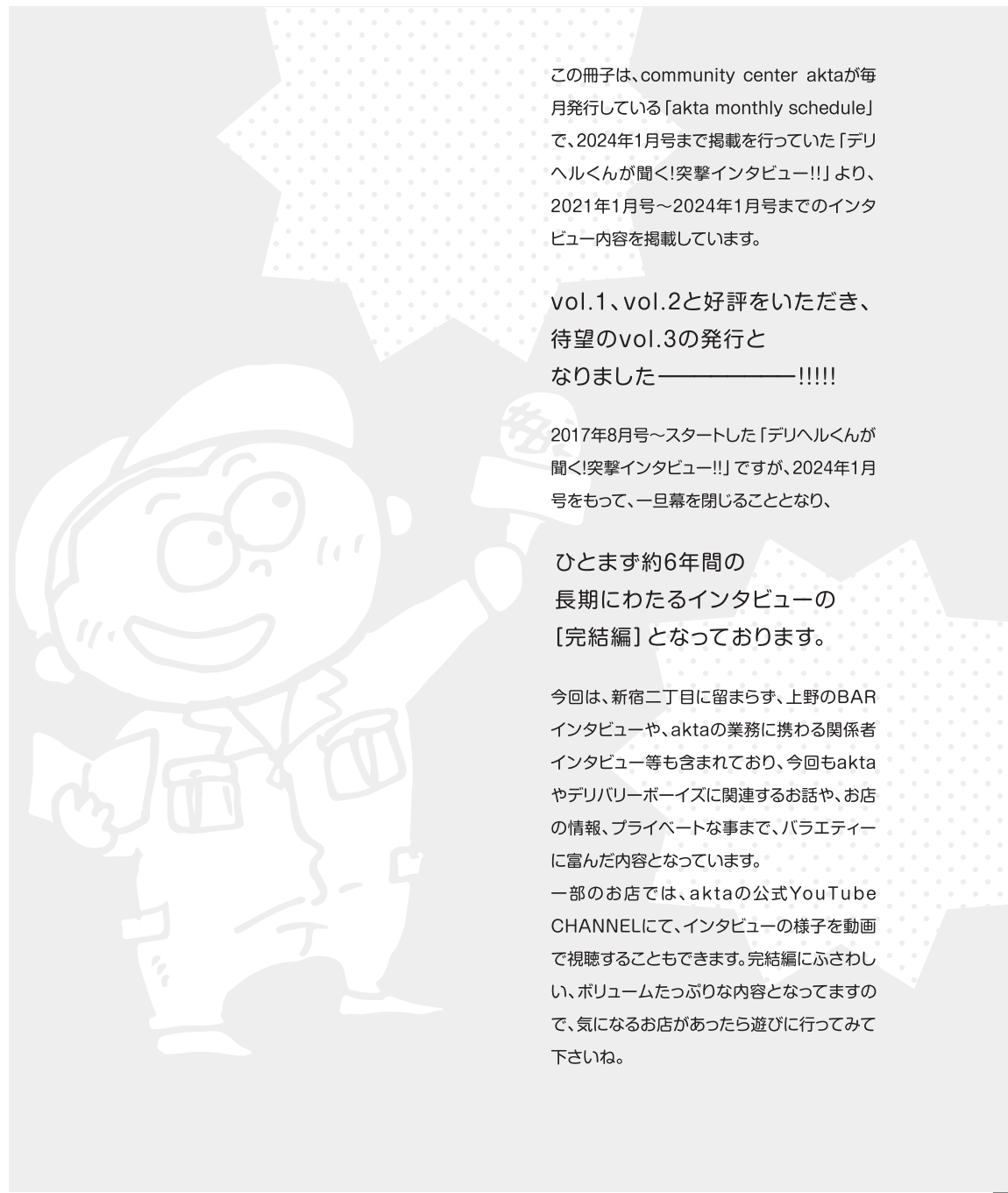
vol.1、vol.2と好評をいただき、
待望のvol.3の発行となりました————!!!!

2017年8月号～スタートした「デリヘルくんが聞く!突撃インタビュー!!」ですが、2024年1月号をもって、一旦幕を閉じることとなり、

ひとまず約6年間の
長期にわたるインタビューの
[完結編]となっております。

今回は、新宿二丁目に留まらず、上野のBARインタビューや、aktaの業務に携わる関係者インタビュー等も含まれており、今回もaktaやデリバリーボーイズに関連するお話や、お店の情報、プライベートな事まで、バラエティーに富んだ内容となっています。

一部のお店では、aktaの公式YouTube CHANNELにて、インタビューの様子を動画で視聴することもできます。完結編にふさわしい、ボリュームたっぷりの内容となっておりますので、気になるお店があったら遊びに行ってみて下さいね。



デリヘルくんが聞く! 突撃大インタビュー!!

akta monthly schedule
特別編集

Vol. 3

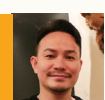
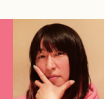
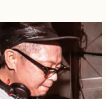
「デリヘルくんが聞く! 突撃インタビュー!!」
より、2024年1月号までの全23店舗+
aktaの制作や企画に関わってくれてる方々への
番外編インタビューを掲載しています。
気になるお店があったらぜひ、
遊びに行ってみてね★

DELIVERY BOYS

新宿二丁目マップ



BAR INTERVIEW INDEX & GUIDE

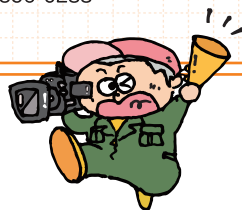
	P004 オレンジバブ ヒロさん& りょうたさん >>>MAP#01		P022 NAUGHTY (ノータニー) ユタカさん >>>MAP#10		P040 傳 (デン) 吉野さん >>>MAP#19
	P006 FANG (ファング) 木村優人さん >>>MAP#02		P024 Ashura Bar (アシュラバー) らんこさん >>>MAP#11		P042 AiiRO CAFE (アイロカフェ) のぞみさん >>>MAP#20
	P008 INDULGE (インダルジ) けんじさん >>>MAP#03		P026 しし〇 (シシマル) CAGEさん >>>MAP#12 [上野]		P044 のら蔵 まっちゃんさん >>>MAP#21
	P010 ISLANDS (アイランド) ラクさん >>>MAP#04		P028 PUZZLE (パズル) たけるさん >>>MAP#13		P046 ZAZA (ザザ) リクさん >>>MAP#22 [上野]
	P012 go-up (ゴーアップ) ゆうじさん >>>MAP#05		P030 BEAT UP! (ビートアップ) 浅香みんまーさん >>>MAP#14		P048 とらんぼりん とらさん >>>MAP#23 [高円寺]
	P014 BAR Tiger (バータイガー) 手皮卵子さん >>>MAP#06		P032 M-style (エムスタイル) ともゆきさん >>>MAP#15		P052 [番外編インタビュー] カミハグプロダクション 松岡弘明さん
	P016 びPOINT (ビポイント) さとPさん >>>MAP#07		P034 CAFE BAR MARU-TA (カフェバー マルタ) タロさん >>>MAP#16		P053 [番外編インタビュー] LONELINESS BOOKS 湯見陽さん
	P018 mucho (ムーチョ) GA-KOさん >>>MAP#08		P036 Cue! (キュー) ユイチさん& おもちゃけんじさん >>>MAP#17		P054 [番外編インタビュー] セックスミュージアム 設立準備委員会 イロタカさん
	P020 NEW-S (ニュース) ただだん >>>MAP#09		P038 Kab's (カブス) カブさん >>>MAP#18 [上野]		P055 [番外編インタビュー] クラブオーガナイザー DJ MASAOさん

その他

P001 はじめに
P002 目次&マップ
P050 新宿二丁目の今を知る /
SUMMER BLAST 2023
アンケート報告

P056 DELIVERY BOYSってなに?
P058 コミュニティセンターaktaって?
P060 [4コマ漫画] デリヘルくん
P061 編集後記
奥付

●東京都新宿区新宿 2-15-11 信田ビル 2F ●TEL 03-3356-0288
●営業時間 19:00~(定休日 無休)



“老け専バーとは認めない? 精一杯のオシャレと、輝くネオン”



ヒロさん(左)、りょうたさん(右)

Q: 店内でSEXについて会話になる事はありますか?

ヒロさん: なるっちゃなるし(笑)

りょうたさん: 内容にもよりますね、ウチ比較的、年齢層が高いので。若い子の店よりは、やったやらないって会話は出てこないかも。どちらかというと、落ち着いてるの。

ヒロさん: たまにいますけど、あんまりないかもね。

りょうたさん: でも他のお店はそんなセックスの話とかするのかなあ?(笑)

デリヘルくん: 若い子のお店でいうと、自分がやっている行為が、正しいのかとか、どういった危険性があるのかとか、そういった経験共有をする事で学べる場が環境としてあるかどうかで感じて聞いてますけどね。

ヒロさん: でも不安に思ってるでしょうね、自分がはじめて経験したときに、ここまでやったんだけど、それが大丈夫かどうかじゃないけどね。

りょうたさん: でも、ウチは若くても年上好きが多いので、20代前半と、30代~40代って上の人が好きな人が多いから、経験値としてはあるよね。20代前半で当て堀って言葉使うもんね(笑) だから経験値は高いのかなって。

Q: 以前ご協力頂いたインタビューでは、お客さんの中でもHIVに関しての正しい認識が低いといった声がありました。2020年の今ではどんな印象がありますか?



DISCOVERY新宿2丁目 (2007年発行)

りょうたさん: まだ認識は届いてないよね たぶん。例えばウケだけがリスクがあって、タチはリスクないとか。それはゼロではなく、タチにも生で掘ればリスクはあるのに、いやタチだったら生でも大丈夫!とか、ウケだけ気をつければいいとか。そういう細かい認識はまだみんな届いてないよね。うちらだって更新しないと、どんどんついていけなくなるし。お客様はもっとじゃない?最近若い子で「PrEP飲んでれば生でやっても大丈夫」ってのはちょろちょろ聞くよね。あれは生でやるための薬だって認識を持ってる人がいる。でも生でやれば梅毒だ、淋病だって他の性感染症に罹るリスクは

高く、そういうのはあまり届いてないね。頻繁にハッテン場で生でやるために飲みたいけど、「どこで仕入れるんですか?」っていうのはたまに聞かれるりするね。

デリヘルくん: そういう事も聞かれるんですね。

りょうたさん: 冗談の会話の中では来るようにはなってきたかな。HIVもそう、認識はね。正しい情報もあんまり届いてないよね。

Q: お店の名前(オレンジパブ)の由来はなんですか?

ヒロさん: この通りに螺旋階段があるビルがありまして、その2階が創業の場所なんです。そのときに何とか亭って付けたいと思ってたんだよねって先代のマスターが言ってたんですけど。何とか亭って言うと、みんなが集まる場所だからパブだよと。色はもうオレンジ色に決まってるんです。で、色と合わせてオレンジパブでいいんじゃない?って。

りょうたさん: 37年~38年前の話だから、今みたいなカラフルなネオンがなかったんだよね。

ヒロさん: 看板の色が少なかったからね。だからオレンジはないねって事から「オレンジパブ」っていうのが、一番最初かもしれない。大した事ない理由(笑)

りょうたさん: 安易だよ(笑) よく聞かれるけどね。

ヒロさん: 精一杯のオシャレだったんだよ、パブっていうのが(笑)

Q: オレンジパブさんのSNSやホームページ等をあまり見かけないのですが?

ヒロさん: そうですね。SNSもやってないし、ホームページももうないので。本当に前時代的な。別にアンチネット系って訳ではないんですけど。たまたまそういうのに詳しいスタッフもいけりゃ、ぼくもそんなに推奨派ではなかったの。だから情報としてはすごく陳腐だよ。例えば何時からやるの?とか。わかりにくい。

りょうたさん: 例えば、誰がいますよ、誰が休みですよって、あの子がいるから行かないとか。そういう店にはしたくなかった。

デリヘルくん: 情報の拡散はどうゆう風にされてる

んですか?

りょうたさん: 本当に口コミだけ。後は個別に知らせるかな、アナログで。今だったらLINEとかメールで。メールはもう年取った人しかいないけど。今回のコロナによる営業時間の変更に関しては個別に伝えるようにしてるかな。

Q: ありがとうございます。最後に一言お願いします。

ヒロさん: 毎日思うのは、人が人を呼ぶっていうかね、同じような傾向な人が固まったり集まったりするけど。そうじゃない人が来たときに、その人に疎外感ってものを感じてほしくないなって思います。感じてほしくないっていうか、感じさせないように我々がしなきゃいけない。よく常連さんで固まってなんて話も聞くけど、中身は常連さんだけでも固まってるわけではなくて、たまたまその人達が知らない人と照れたりして話せないだけで。まあでも楽しいお店にしようと思ってます。

りょうたさん: 楽しめる場所を探して欲しいよね、みんなそれぞれのね。静かな店、賑やかな店とか色々あるから。

ヒロさん: こんな老け専バーもあるんだって思ってもらえたらいいよね。

りょうたさん: 認めてないけど(笑)

ヒロさん: いつまでも若いつもりなんだよね。

デリヘルくん: (笑) ありがとうございます。



ま!リッパ!
おちんちん
おしぼり♡

●東京都新宿区新宿 2-7-3 ヴェラハイツ 309 ●TEL 03-5360-3829
●営業時間 19:00～翌 5:00 (定休日 無休) ※社会情勢により営業時間や定休日に変更となる可能性ある為、Xにてご確認ください ●X@fang_tokyo

“ 出会い率高めのイケメンバー？ 予防のツール以外でのコンドームの活用方法とは？ ”



Q:コンドームをキッカケにお客さんと会話になることはありますか？



木村優人さん:1つは絵柄がかわいいじゃないですか？それをコンプリートしたってお客さんもいるんですけど、僕あんまりガバッと持っていく子には怒りますけど(笑)「これaktaさんの有志のアレなんだからね」って言ったりもしつつ(笑)そこからセックスの話になったりとか(笑)

デリヘルくん:性感感染症リスク等の共有なんかもありますか？

木村優人さん:すごいあります。僕がそういう話を結構したりします。特に年齢関係ないですね。若いからとか、30代、40代だから知識があるって事で本当にないと思うので。今までそういう事に興味を持ってきたかどうか、病気の人が近くにいたかどうか。そういう感覚や経験がないと、この間も「HIVの人とか本当にいるの?」って会話になって、バカタレと思って(笑)あなたがそういう考えだから、あなたの周りにもHIV+の人がいたとしても、あなたにだけは話せないんじゃない?って話をして。飲み屋のノリの中で、HIVの事をネタとして取り上げちゃうと、同じ空間の中で本当はHIV+の人がいたとしたら、顔で笑って心で泣いてるよって話をしつつ。性教育じゃないですけど(笑)それは本当に歳関係ないって思いますね。なので、うちにとってはaktaさんのコンドームはそういった話のキッカケにもなっているので有り難いって思ってます。



Q:お店の名前(FANG)の由来を教えてください。



木村優人さん:僕が同人誌などでずっと獣人モノを描いていて(笑)そういうサイトも作っていたので、とにかく獣に関する店名にしたかったんですよね。「ビースト」って名前はそのまま



FANGは、
「牙」って意味
なんだよ!!

木村優人さん

横浜にあるし、ゲイビデオレーベルにもあるし。最終的に「FANG」と「ガウガウ」って名前が残りました(笑)それで「FANG」にして。昔まだmixiもブログも出る前の個人サイトのとき、サーバーレンタルがすごい大変だった時代に、「獣コミュニティファング」という獣人サイトをつくる人向けのポータルサイトがあって(笑)それがちょっと記憶に残ってた部分もありますね。

デリヘルくん:そんな理由もあって名前がついたんですね。

木村優人さん:そうですね、「ガウガウ」だと若くてギャーギャーっぽい印象もたれちゃうかなって思って、誰でも来やすいような名前にしたかったので「FANG」の方にしました。



Q:「小料理BAR」と呼ばれるほどお通しが話題ですが、こだわりありますか？



木村優人さん:よくゲイバーだと「乾き物」「濡れもの」って表現しますけど。濡れものがママさんの手作りのおつまみのあるお店がもともと好きで。お菓子だけのお店が嫌って訳じゃないんですけど、よりそのママさんが料理を作ってる事で、その人の人となりが料理を通じて見え隠れするなっていうのが、僕は面白いなって思っていて。それでもともと料理好きだったので、何かしら作ろうって思って始めたんですけど。こだわりってあるようなないような、自分が作りたくて食べたいものを作ってる(笑)でも季節感を大切にしたり、僕健康趣向なので、ちょっと健康的っぽいものを意識したりはしてますけど。

デリヘルくん:自家栽培をされてるって聞きましたけど。

木村優人さん:そう(笑)畑やってます最近。あと薬膳アドバイザーの資格を取れる事になりまして、なのでそういうの好きですね。



Q:限定メニューなどのお酒を仕入れる旅をしているとか？



木村優人さん:はい行きます(笑)地産地消とかとにかくそういうのが好きなんです。人との御縁とか、その土地のものを大切にするとか。20代の頃がありえないくらい働きすぎて、旅行を20代の10年間でほぼほぼ出来てなくて。30代になり自分の店を持って、5年目で少し余裕が出てきたので、色々な地域に行って友達を

作ったり。そういうのもゲイならではの素晴らしいところだと思うんですね。ストレートの方だと旅先で色々な人とリアルするって難しいじゃないですか。旅先のご当地ホモとご飯して仲良くなり(笑)その土地のものをその場で買って、貢献還元して。お店に戻ってその土地のものをお客さんに振る舞って、その土地の話になって。それで例えばお客さんが、どこでもいいですけど、そこまで主要で行かないだろうなって県にも行くキッカケになったら嬉しい。その地域のゲイの子たちが勇気を出して東京行ってみようかな、二丁目行ってみようかなっていうときのキッカケにもなってくれたら嬉しいなと思っています。人と人との橋渡しのためにお酒というツールが僕はあると思っているので。



Q:ありがとうございます。最後に一言お願いします。



木村優人さん:イケメン集まりまーす(笑)結構出会い率が多いってお客様から聞きますね。なんかちゃっかり持ち帰ったとか持ち帰られたとか。付き合った別れたとか(笑)出会いも幹旋するし、しっぽり色々なお酒とも出会える。今コロナ禍だからアレですけど、ギャーギャー騒ぐ事もできますし、どんな人でも来てくださって感じですかね。

デリヘルくん:ありがとうございました。



動物の人形がいっぱい!!

“オシャレさよりも〇〇さを目指している？ 二丁目のカジュアルワインバー！”



けんじさん

Q.お店での相談等(お客さんから)はありますか?(HIV/性感染症等)

けんじさん:「HIVになっちゃった。どうした方がいいか?」とかはありましたね。若い子が多いですね。自分たちが若い時って(HIVに関して)そんなに言われてなかったし、aktaのような活動もあんまりなかったと思うけど、HIVとかが現実的じゃなかったから。今の若い子達は、現実的な話になっちゃってるから、こんなにいるんだなって。

デリヘルくん:結構相談されるんですね。

けんじさん:ちょっと聞きたいんですけど、今、薬みたいなのあるじゃないですか?(HIVに)かからない薬?あれはなんなんですかね?あれをやっているからって、生でやろうとする人がいるって聞いたら、そんなのあるの?って。

デリヘルくん:元々はHIVの治療薬で、それを事前に服用することでHIVの感染を防げるって言われています。ただ日本ではまだ予防薬としては認証が降

りていないし、購入しようすると高価なものになります。

けんじさん:海外から輸入してるって言ってた。正しく使用していたら結構防げるんですか?

デリヘルくん:HIVだけ予防できるので、他の性感染症には効果はありません。

けんじさん:なるほどね。オレ遅れてるからそういうの知らなくて。でも、ちょっとだけゴムと逆行しちゃっているでしょう。複雑な感じですよ。じゃあ、性病うつるって言えばいいんだね。

デリヘルくん:HIV以外の性感染症は防げない、とお話することがあれば。



Q.INDULGEさんはどんなお店なんですか?

けんじさん:カジュアルワインバーみたいな感じですかね、最初はね。だけど、自分が元々二丁目のお店に入っていた時は、昭和焼酎バーだったから、自分はそっちの方が好きなんです。けど、ワインも好きだから、ワインも飲めるお店の感じでやっているっていうか。ワインを格好良く飲めるお店って今はたくさんあるけど、INDULGEを始めた頃って全然なくて。でもワインをおしゃれに飲むじゃなくて、カラオケも歌いながらワインも飲める感じがいいなって感じですね。

デリヘルくん:ラフな感じでってことですね。

けんじさん:そうそう、INDULGEはラフな感じで飲んでもらいたいかな(笑)

デリヘルくん:でも、INDULGEさんもおしゃれな感じがしますが。

けんじさん:いえいえ、INDULGEはゲスな感じがいいので(笑)

デリヘルくん:内装からはわからない(笑)

けんじさん:そっちを目指している(笑)



Q.お店同士のつながりはどのように作られたんですか?



けんじさん:基本的に、お店を始めてからですね。自分、BANCOってお店でお手伝いしていたので、BANCO出身のお店って今結構多いんですよ。Jungleさんとか、ワインバーのsantéさんとか。あとU:Zさん、レモンサワーさんとか。そういうお店が、同じ時に(BANCOに)入っていた人たちだから、そこで仲良くさせてもらったところからちょっとずつ広がっていった感じですかね。

デリヘルくん:そういうつながりがあったんですね。

けんじさん:あと、自分は博多の人たちとも仲良くさせてもらっていて。博多はDAIDAIさんってお店なんですけど、マスターの大作さんって人が飲みに来て下さった時があって、それからすごく意気投合してめちゃくちゃ仲良くなって、そこから自分も博多にはよく行くし、大切にさせてもらっています。

デリヘルくん:DAIDAIさんのお名前はよく聞きます。

けんじさん:めちゃくちゃ良い方なんです。自分より十何個上ですけど、フラットに付き合ってくれるし。すごいなって思います。いいマスターさんです。



ワイン以外にもたくさん!!



Q.コロナ禍での営業で大変に思うことはありますか?



けんじさん:(コロナは)辛いけど、これまで飲食店は支えてもらっちゃってるから、辛いとは簡単に言っちゃいけないと思う。それでも、来てくれるお客さんもいるし、前よりお客さんと近くなれるからいいかなって。お客さんの数も減るじゃないですか。そうするとよく喋れるし、自分結構サボリママだったので(笑)

デリヘルくん:今後に期待することはありますか?

けんじさん:自分は変わらないのかなって思うから、その対策だけは。コロナになった人からいろいろ聞いてみると、少なからず後遺症みたいなのがあって不安な時がある人たちが多かったから。そう思うと、風邪だっていう人もいけど、そんな簡単じゃないこともあるでしょ。だからそこだけは守らなきゃなって。だから、これ(飛沫防止シート)コンドームだと思ってください(笑) すっごいってかいチンコだけ(笑)

デリヘルくん:特注ですね(笑)

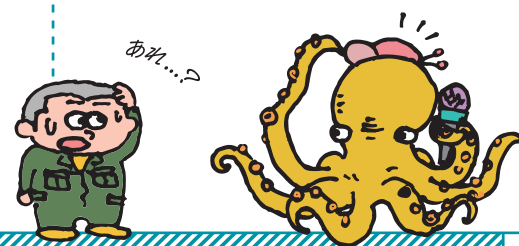


Q.ありがとうございます。最後にけんじさんにとっての二丁目は?



けんじさん:二丁目はゲイの日常。ノンケが銀座に行く感覚よりは、ノンケが地域の飲み屋に来ている感じ。ゲイをアピールしなきゃいけない世界はあんまり好きじゃなくて、アピールしなくていい世界があったほうがいいと思っていて、二丁目はそういうところであって欲しいなっていうか。素でいられる場所であってほしい。だからワインも適当にチャラチャラ飲んでいいと思っちゃうし、モー娘。歌いながらワイン飲んでる人がいた方が二丁目は当たり前なのかなって思っているの、そうしていきたいなって思ってます。

デリヘルくん:ありがとうございました。



●東京都新宿区新宿 3-11-1 今井ビル 3F ●TEL 03-3359-0540
●営業時間 月水木日 19:00~翌 2:00(金土祝祭前は翌 4:30 まで) ※社会情勢により変更の可能性があるため、HP などをご確認ください(定休日 火曜日) ●www.3.plala.or.jp/islands/

“二丁目初見のお客さんが選ぶ一軒目は三丁目？ 目から鱗の衝撃の理由とは？”



ラクさん

Q.セックスの話題など店内で飛び交うことはありますか？

ラクさん:オープン当時に比べると、発展場に行くってことを皆さん隠さない。

デリヘルくん:(笑)

ラクさん:昔は本当に隠して(発展場)に行っていた。グラデーションはすごくてきたと言うか。昔もグラデーションだったんでしょけど建前上、当時はもちろんインターネットでの出会いもなく、アプリもなく、ケータイもなかったの。出会う場所?簡単にいうとセックスの相手を見つける場所は飲み屋が発展場に二極化されていて。あんまり飲み屋では発展場の話題とか当時しなかったんですね。でも、中には「発展場とかもう全然行ってない」って言いながら全然行ったりとかもあったと思うんだけど。でも飲み屋は飲み屋のそういう立ち振る舞いをする人が多かった。今はアプリとかで出会うこともあるし、サークルやイベントで出会ったり、発展場と飲み屋の間にいっぱいいるんなものがあるので。そういうと

ころに行くこと自体隠さなくていいって思う人がどんどん増えて。逆にこっちがびっくりするくらい。「そこまで聞いてないんだけど」って思うんだけど(笑) すごい時代だなんて。自分の年齢もあるかもしれないんだけど、歳をとっていったってそんな感じの印象を受けますね。



Q.お店の名前(ISLANDS)の由来はなんですか？



ラクさん:僕とパートナーと2人で始めたお店なんで、未だに2人でやってます。2人の苗字に「島」がつくんですよ。それで、ISLANDにSをつけてISLANDSって言う、すごく簡単な。

デリヘルくん:へえ、お2人に島がついてたんですね。

ラクさん:そうなんです。友達が「苗字に島がつくからそれでいいんじゃない?」って言って。「あっ」と、とんとん拍子に。

デリヘルくん:(笑)

ラクさん:結構名前って大変なんです。他のお店の話を聞いても屋号を決めるっていうのは大変みたいですよ。ずーっと残るものだからね。



Q.お店のコンセプトは？



ラクさん:僕もパートナーもサラリーマン時代にゲイバーによく行ってたんです。その時代のお店の雰囲気って、若い人から比較的上の人まであんまり年代関係ないお店が2丁目は非常に多かったんですね。今は、年齢、体型、趣味嗜好でカテゴライズされちゃってるお店が多い。でも昔っぽくって言ったら変ですけど、コンセプトではなく、いろんな人に来てもらえるお店だったらいいなって。



デリヘルくん:実際にお店をやられてどうですか？

ラクさん:やっぱりなかなか難しくて、僕らの年代のお客さんだと老け専部類に入ってしまうので。ただ若いスタッフの子達の力を借りて20代、30代が増えて、今では30代が一番多いです。昔から来るお客さんは50代の方が多いので、そう考えるとそこそこには(年齢層は)広い方だと思います。

デリヘルくん:確かに!お店に若いスタッフの子が多い印象がありました。

ラクさん:ものすごい頑張ってます(笑)「中のマスターと一緒にお店の人も歳をとっていく」ってよく言うじゃないですか。若い人が中に入っていることによって、お客さんも自分と同じ歳の子が入っているって来やすくなるじゃない?それでなんとか保ってるって感じです。平均年齢の高齢化を(笑)



Q.2丁目と3丁目の違いはありますか？



ラクさん:実は2丁目に6年いたんですよ。2001年に3丁目に越してきて、もちろん2丁目の中じゃないので、なかなか(飲み)回る中に入れてもらえなかったりするんですけど。2丁目行ったことないってお客さんが最初の1店舗目を選んでくれたりもして。計算とかは全くなかったけど「ああ3丁目ってそういう意味合いもあるんだな」みたいな。

デリヘルくん:なるほど。

ラクさん:お客さんに「実はゲイバー初めてなんです」って話をされて「なんでウチに?」って聞くと、「いきなり2丁目とかよりは3丁目にこちらがあったのでまずこちらで様子を…」みたいな(笑) 今はインターネットでお店の情報は色々手に入れられるので、お客さんはすごい調べてますよね。僕らの時代はそんなの全然ないから。ただひたすら仲通りを歩いて「この看板の色綺麗、じゃあ入ろう」って。

デリヘルくん:(笑)

ラクさん:いや、ほんとそんなん。だって情報がないから。でも今は情報もあって、ものすごいハードルが低くなって、皆さん2丁目に来やすくなったんじゃないかな?

デリヘルくん:その中でもまだハードルに感じる人が?

ラクさん:全然います。2丁目が昔と違うのは通りに人がいっぱいいるじゃないですか。僕らの時代って通りに人がいなかったんですね、誰かに見られちゃうから。店に入って出る時には、場所を決めておいで駆け足でパッと入るっていう。いけないところかいけないところへ入るみたいな雰囲気だったのが、今は普通に「おはよう」みたいな感じにいるじゃない?初めての人はあれが抵抗あるみたい。

デリヘルくん:なるほど(笑) 目から鱗が落ちた気分。

ラクさん:あそこが社交場だもんね。店の中だけじゃなくて。



Q.ありがとうございます。最後に一言お願いします。



ラクさん:2丁目に寄るついでに、3丁目も覗いてください。

デリヘルくん:ありがとうございました。

オシャレな
ごだわりカウンター

●東京都新宿区新宿 2-18-10 2F ●TEL 03-3353-3922
●営業時間 月～木 19:00～翌 2:00 / 金 19:00～翌 5:00 / 土～連休前 20:00～翌 5:00 ※社会情勢により変更の可能性があるため、HP などをご確認ください (定休日 無休) ●X@taffy4711

“0からのスタート? コロナ禍を乗り越えた想い! 〃 ネクストステップへgo-up!”



ゆうじさん

Q. お店にコンドームを設置することについてどのようにお考えですか?

ゆうじさん: そうですね。結構昔からいろんなお店の目につく所やカウンターにはコンドームがあったので、定着はされてると思うんですね。新しいものではないですけど、お店側からするとコンドームがあることが「ステータス」っていうと大袈裟ですけど、あることによって「認められた」じゃないけど、なんか「あることがいいね」って言われるときもありますよ。

デリヘルくん: 最初にコンドームを置こうと思ったキッカケは?

ゆうじさん: キッカケは、結構随分昔に行ってた店にもコンドームが置いてあったし、最近行くようになったお店とかにも置いてあるのを見た時に、ああ自分の店にも置きたいなって思ったんですね。「そうするのどうしたらいいんですか?」ってそこのママさんに聞いたら「自分から連絡したらいいんです」みたいなことをいわれて、ご連絡した次第なんですけど。

Q. お店の名前 (go-up) の由来はなんですか?

ゆうじさん: もうすごいくだらなくて、いうのが恥ずかしいんですけど。昔から言う名前でお店をやるうと思ってたんですけど、その名前を調べていたら、当時その言葉が流行っていて、検索するとそっちの方が先に出ちゃっていたので、「これはちょっとダメだな」って思って。どこかの会社概要か何かを見た時に、GO UP, GORGEOUS (ゴージャス), GLAMOROUS (グラマラス) っていう3つのGでこの会社をやっていきますみたいなのを書いてあって。ゴージャスとグラマラスはなんとなくわかるじゃないですか? GO UP っていう意味なんだろうって調べたら、「上昇する」とか「昇る」とかそういう意味だったんで、まあ最初にはなんかいいかなくて思って。で、小文字で「go up」にしたんです。

デリヘルくん: 3つのGが並んでた時も小文字だったんですか?

ゆうじさん: いえ、大文字だったんですけど、小文字から小さく始めていこうかなって。

デリヘルくん: (笑) 謙虚ですね。

ゆうじさん: いやいや(笑)

デリヘルくん: お店の看板ロゴもカッコイイですね!

ゆうじさん: デザインしていただいた方と相談しながら「こういうのう?」みたいな感じで、今のロゴになったんですけど。

デリヘルくん: 何かモチーフがあるわけではなく?

ゆうじさん: そうですね。これは案としていただいて、選んでみたんだ感じなんですけど。カッコいいと



ははよくっていただけて。ガッチャマンみたいですよ!

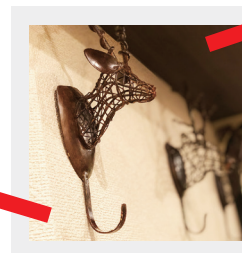
デリヘルくん: (笑)

Q. コロナ禍ですが、お店としての今後の目標ってありますか?

ゆうじさん: まずはコロナの自粛が明けてみないことには営業もできないし。営業したからといって、自分のところは完全に休んでいるので(お客さんが)戻って来てくれるのかって不安はすごいあります。コロナが流行して1年半が経って、お客さんとかも飲みに行かないのが当たり前みたいになっていると思うんですよね。なのでコロナが明けた時に戻ってきてくれるかな? っていうのは怖いんですけど、やるんだったら新しく0から始めてもいいかなって気持ちでいいと、やっていけないうちですよ。

デリヘルくん: その心配をしてるお店って多いと思います。

ゆうじさん: そこが一番怖いですよ。でも今回も(まん延防止等重点措置期間は)ちょっと営業できたじゃないですか。その時は諦めて平日とかお客さんが0になってもいいと思ったんですよ。でも、ありがたいことに0になる日は一回もなく、最後は週末に「こんなに来てくれるんだ」ってなって、それでやる気も出て「あ、頑張れる」と思いました。



Q. 二丁目への関わりについて教えてください。

デリヘルくん: 二丁目に来始めたのはいつくらいですか?

ゆうじさん: 20年くらい前、2000年くらいだったと思います。東京に転動になってって感じだったので。

懐かしい
洋楽や洋画を
流しています!



一人利用のお客様が少くても、
みんなでわきあいあい!!!

デリヘルくん: そうなんですね。ゆうじさんが持たれている二丁目のイメージと今後こういう風になってほしいという展望みたいなものがあるれば。

ゆうじさん: 昔はやっぱり秘密の場所じゃないけど、みんな隠れて二丁目に来て楽しんでって感じがあったんですけど。今は時代も変わってオープンになってノンケさんも多いし、昔みたいになれるのは一番いいと思うんですけど、でもやっぱり多様性を考えると今に合わせる必要があるのかな? っていう。バランスが難しいですよ。

デリヘルくん: 当時っていうか、色々ゲイバーとかに飲みに行っていた時期って、ゆうじさんとしては一番何が楽しかったですか?

ゆうじさん: 自分がゲイであることを隠さずにお酒をたくさん飲めるって感じじゃないですかね? 例えば居酒屋とかで会社の人たちと飲みに行ったら、酔っ払って変なことをボロッと言っちゃったりどうしようとか、あるじゃないですか。

デリヘルくん: なるほど。

ゆうじさん: でもゲイバーだったらボロッといっちゃったところで普通なんで。その安心感ってところですよ。お店作りのところで考えると、仕事の話もできるような、愚痴もこぼせるようなところでありたいと思いますけど。なんか難しく考えてまうな。(お店としては) まあ落ち着いて飲めることにしたいですね、はい。

デリヘルくん: ありがとうございます。

●東京都新宿区新宿 2-12-15 山原ハイツ 1F ●TEL 03-3355-1554
●営業時間 20:00~翌 5:00 (定休日 無休) ●Instagram@bar_tiger0501

“この名前に誇りを持っております！” 「芋皮卵子」の命名秘話！”



Q. デリバリーボーイズについてどのような印象を持たれていますか？



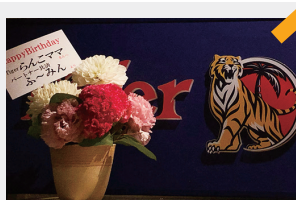
芋皮卵子さん: 結構長くやってらっしゃいますよね? 関心はすごくあって(コンドームを)無料で置くてすごくいいじゃないですか。手に取りやすいし、みんなが使ってくれるって意味ではすごくいいなと思うし、素晴らしい活動だなと思ってます。

デリヘルくん: ありがとうございます。活動へ協力していただくキッカケは覚えていますか？

芋皮卵子さん: それがちよっと記憶があやふやなんですけど、わたしaktaさんと共通の知り合いの方にお願いしたんですよ。うちも(コンドームを)持ってきてほしいですって。誰かは覚えてないんですけど、紹介して持ってきてもらうようになったんですよ。オープンしてすぐくらいのときなので8年前です。自分から言いました(笑)

デリヘルくん: コンドームを設置してお客さんの反応は？

芋皮卵子さん: すごくいいですね。観光バーなんですけど、とにかくみなさん手に入るですよ。デザインが色々あって「すごい、毎回違う」って。みなさん結構二丁目お土産みたいな感じで持って帰る方もいて、すごく受けが良かったですね。



Tigerビールの看板



芋皮卵子(いもかわらんこ)さん



Q. お店の名前(BAR Tiger)の由来はなんですか？



芋皮卵子さん: うち系列店として、LIONってお店があるんですよ。わたし(LIONに)オープンからいまして、LIONからのTigerをオープンしたんですよ。それでわかりやすい名前がいいと思って、同じ猫型動物の名前で「Tiger」と決めてやってますね。

デリヘルくん: 最初はライオンだったんですね！

芋皮卵子さん: それがキッカケですね。

デリヘルくん: 名前にちなんでだと思んですけど、店内にもタイガーグッズが多いですね。事前に集めたんですか？

芋皮卵子さん: いや、お客さんから頂いたりとか、全部飾ってるんですけど。入り口に飾ってある看板は酒屋さんからですね。

デリヘルくん: えー。酒屋さんですか？

芋皮卵子さん: Tigerビールってのがあって実際に、シンガポールのビールで。うちのすごく(注文

が)出るの、酒屋さんが非売品なんですけどくれるって言ってくれたんですよ(笑)

デリヘルくん: すごーい(笑)

芋皮卵子さん: たぶん貢献してるからでしょうね(笑)

デリヘルくん: 酒屋さんからもらってなかなかないですよ。



Q. お店のコンセプトはありますか？



芋皮卵子さん: うちとはとにかく基本的には断らないんですよ、どなたでも入れて。まあそこなのかなって思ってますね。結構(お客さんを)選ぶところもあるじゃないですか。でも、みなさんでワイワイしていただく方が嬉しい。だからわたしたちがワーってするより、お客さん同士の方が結構仲良くなって騒いでる方が多いですね。なんか自分もそれが結構好きで、お客さん同士の輪が広がって。二丁目なんですけど2~3組くらい男女が結婚してるんですよ。

デリヘルくん: えー! すごーい!!

芋皮卵子さん: そう、二丁目なのに(笑) そういうのもすごく嬉しくて。はじめて二丁目来たときに隣の席だったとか、わたし結婚式でそれを初めて知ったんですよ。結婚式のムービーのときに「お二人は、新宿二丁目BAR Tigerで初めて出会ったときに隣同士でした」みたいなアナウンスされて、そーだったんだって知って。

デリヘルくん: (笑) お店キッカケでってすごいですね。

芋皮卵子さん: 付き合う方たちも結構いて。そういう場を提供できていることがすごく嬉しいですね。二丁目だけど(笑)



Q. 「芋皮卵子」さんの名前の由来について教えてください。



芋皮卵子さん: ぼくの名前やっぱり気になりましたよね?(笑) 名刺を渡したときにいつもドッと盛り上がるんですよ。わたし「月曜から夜ふかし」にも何回か出たことがあって。芋皮卵子ってテロップが出たときに「いやいや芋皮卵子って!」って、マツコさんもツッコんでたみたいです。デリヘルくん: すごーいインパクトですよ(笑) この名前の命名は誰が?

芋皮卵子さん: もちろん自分ではありません。付け

ていただいた名前ですね。初めて働いたお店で本名でやってたんですよ。本名が4文字で、その名前前でやってたときに、別の店のママがいらして「(本名)です、よろしくお願いします」って言ったときに、「いやあんた4文字なんて覚えにくいよ! わたしが決めてあげる! あんたは卵子よ! 名字も考えるわ、芋皮よ!」

デリヘルくん: (笑)

芋皮卵子さん: 本当にこのくらいのテンポで決められたんですよ「あんたは今日から芋皮卵子よ!」って。その時のお店のママじゃなく他店のママさんに言われたのが最初で。そこで「あ、はい! わかりました!」って言っちゃったもんだから変えられてないっていう。若い時に後悔したこともあります。でも今じゃ本当にこの名前に誇りをもっております(笑)

デリヘルくん: すぐ覚えてもらえますもんね(笑)

芋皮卵子さん: そうですね、覚えてもらえるってのがすごく大きいですね。今は愛着がすごい湧いてます。この名前がすごい本名より長いので。

デリヘルくん: ありがとうございます。



●東京都新宿区新宿 2-7-3 ヴェラハイツ新宿御苑 311 ●TEL 03-3341-6364
●営業時間 平日 19:00~0:00 / 金土 19:00~翌 3:00 / 日 18:00~23:00 (定休日 火・水曜日)

“ぴPOINTの「ぴ」は〇〇〇の「ぴ」! たくさんの下積みを経て辿り着いた先にあったものとは?”



さとPさん

Q.お店での相談等(お客さんから)はありますか?(HIV/性感染症等)

さとPさん:あります。まあ週末とかお客さんいるときは難しいですけどね。何度か通ってくれてるお客さんだったら、入ってきた瞬間にわかるしね雰囲気。なんか言いたいんだろうなって。もともとでして、最初告られるのかと思ったよね。

デリヘルくん:(笑)

さとPさん:誰もいなくなった瞬間に「ちょっといい?」って言われて、キターーと思ったら全然違う方向で重たい会話なんだけど。色んな相談先や団体があるから紹介して、今は一人で悩むことってないじゃない?

デリヘルくん:そうですね。

さとPさん:でもコロナになってからどうしても一人になる時間ってのが増えちゃったので、なるべく一人にならないようにしてあげたいなって思うから、話そっしてしてるけど。



Q.お店の名前(ぴPOINT)の由来を教えてください



さとPさん:出たあ!!これねえ〜恥ずかしい話なんだけど。二丁目って世界でも有名なところじゃないですか?その昔モバーって言われて。男が男を求めて集まる場所、単純にちんこの集まる場所、ペニスポイントで「P POINT」
デリヘルくん:そーだったんですね!!(笑)

さとPさん:だからうちの屋号って平仮名の「ぴ」と、アルファベットのPが重なってるのはそういう意味なんです。これがちんこになってるっていう(笑)

デリヘルくん:あ〜!「ぴ」の形が!!(笑) すごーい!

さとPさん:そうそう(笑) でもこれあまりにも恥ずかしいので、今みなさんに説明するときには「大事な場所、プレシャスポイント」ってこじつけてます(笑)

デリヘルくん:なるほど(笑)

さとPさん:そういう風に言ってくれたのは、4年前くらいに亡くなったお客さんなんだけど。「屋号についてはインタビューとかされたときに絶対聞かれるから、そんなときは大事な場所って言い方変えれば?」って。それがその子の遺言になってるので。それは継いでいきたいなって思って。でもちんこの集まる場所なんですけど(笑)



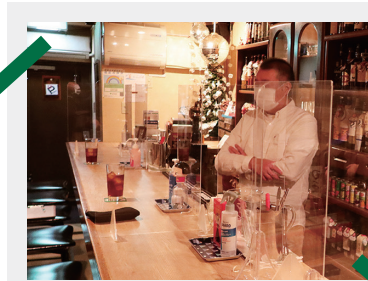
Q.お店を出す前は下積みがあったんですか?



さとPさん:ここの場所で24年。ルミエールの斜め前に「Gadget」ってお店あるのわかる?あそこでは3年やってたんですね。その前は新橋の店で初代のママをさせてもらって。その前が横浜で観光バーに入っていました。

デリヘルくん:え、すごい沢山!

さとPさん:流れ者なので。だから新宿ではちょっと



多くの店で働いて来たさとPさん

大変でしたけど、しきたりがわからず。

デリヘルくん:ずっと水商売をされてきたんですね。

さとPさん:基が人が好きだったので、だって面白いじゃん。一番苦手な仕事を最終的に選んでしまったんだけど。

デリヘルくん:苦手だったんですか?

さとPさん:飲み屋さんは飲みに来るところであって、働くところではないと思ってたから。ほら趣味を仕事にするとつまなくなるっていうのと一緒に。男が好きで酒好きで飲み歩くの大好きで。全部集約されてるところに入っちゃうと遊べなくなるわ出来なくなるわ。飲むのには遠慮しなきゃいけないわで(笑)

デリヘルくん:(笑) 最終的にここに流れ着いたって感じですか?

さとPさん:流れ着いたってよりは引かかってるって感じだけどね。まあ次どこに行くとは思ってないし、最終的にここで終わろうとも思ってるけど。でもなんか腰を据えて胡座がいちゃうと横柄になりそうな気がする。なんかまだ引っ掛かせてもらってる、それが緩やかだから心地よくてなびいてる気がする。あの調子こくので、これでいいと思っちゃう。

デリヘルくん:(笑)



Q.二丁目のイメージと今後に期待することは?



さとPさん:二丁目って常に進化して退化して、また進化して。その繰り返しだと思う。なんだから常に新しい風を運んで来てく

れる場所であってほしいなって思うし、またそうであり続けたいって思う場所でもあるよね。だってこの街が静かだと国が静かみたいところがあるじゃない?くらい特殊じゃん!でもその中でも今元氣じゃん。やっぱりこの街は元氣であってほしいと思う。年齢も性別も関係なく。ちょっと節度あるようにはしてほしいけど。規制だったりゴミだったり。どう?今の二丁目。そんなに悪い街じゃないじゃない?程よく冷たくて程よく温かいじゃん。で程よく距離感があるじゃない。

デリヘルくん:そうですね。

さとPさん:これって何か良くない?ベツタリは嬉しいけどどうざたいじゃない?

デリヘルくん:ええ(笑)

さとPさん:程よいこの距離感って、このままであってほしいなって思うかな。だって大きな変化と進化を求めたって、そんな大きな進化と変化しないじゃない?だってみんな結構慎重だし、結構気にいだし。だから何かこのままでいいんじゃないかって気はする。



オススメの日本酒も豊富にあります!!



Q.ありがとうございます。最後に一言お願いします。



さとPさん:うちはどうしても年数が長いのと、ずっと喋ってるので。これは威圧感になるって言われるんだよね(笑) 自分でわかってるんだ!わかってるんだけどね、止められない! かつえびせんみたい。そんな感じなので(笑) こんなぼくだけど、よかったら1回みんなおいでよ、扉は重くないぞ!

デリヘルくん:ありがとうございました。

●東京都新宿区新宿 2-14-3 大木ビル 3F ●TEL 03-3358-4679

●営業時間 20:00～翌 5:00 (定休日 日・月曜日)

“多様なセクシュアリティ! GA-KOさんの男の趣味! なんでも来いなオールジャンルバー!”



GA-KO(ガーコ)さん

Q.お店での相談等(お客さんから)はありますか?(HIV/性感染症等)

GA-KOさん: 全然いっぱいありますね。17年やってるんで、結構カミングアウトされますね。それで、身近なんだなっていうのも段々わかってきたし。

デリヘルくん: その時に何か困ったことはありますか?

GA-KOさん: 自分に言ってくれる人たちは、思い悩んでって感じというよりは、色々調べて割り切った上で、気分的にもポジティブになって、で言ってくれるってパターンが多いかな。

デリヘルくん: ママさん自身のHIVへの印象は?

GA-KOさん: 最初は怖かったですけど、今いろんなお客さんとかに聞いたり、記事とか見たりして、怖くはないんだなっていう感じにはなってますけどね。自分も若い頃にデートする相手がHIV+の方で、そのこと知らなかったんですけど、会う前にそういう情報を得ちゃって。それでデートはしたけど、そういうの初体験だから怖いっていうか、そういう経験をし

て。でも、すぐその人はカミングアウトしてくれて、深まったみたい。そこからいろんな情報も入ってきたし、身近にいるんだってこともわかったし。すごく勉強になってますね。

Q.お店のコンセプトはありますか?

GA-KOさん: 男女、ゲイ、ノンケ関係なくっていうのがモットーかなみたいな。そういう人としてみたいなので差別なくっていう感じの店ですね、うちは。だから半々くらいの客層で、日によってはお客さんゲイしかいなかったり、ノンケしかいなかったり、レズビアンしかいなかったりとかいろんなパターンが。だから来るときによって違うのがあって。あと、アタシがどっちかっていうと格闘技とかプロレスとかラグビーとか柔道とかそういうのが好きで、そういうお客さんも多いですね。現役のプロレスラーとか、柔道とかラグーマンとか。

デリヘルくん: 本当にいろんなジャンルの(お客さんが)

GA-KOさん: そうですね。アタシの男の趣味が。

デリヘルくん: (笑)

GA-KOさん: だからそういうの好きなゲイの子もうちは多いです。

Q.ママになったキッカケはなんだったんですか?

GA-KOさん: MONSOONで5年半くらい働いていて、3年くらいそこでママやってんですけど、もうそろそろ昼間戻ろうかな?って思ってた、水商売で食っていくのは思ってたんですけど。戻ろうと思った時にそのオーナーに声かけられて、で、好き勝手やっていいからやれば?勿体ないから、みたいな。で、次も決まらなかったから、

じゃあちょっとやってみようかみたいな感じですね。軽い気持ちで軽い気持ちでした。

デリヘルくん: へへ。それでやってみて、続いているってことになるとするんですけど、その中で意識していることとかは?

GA-KOさん: なんか、ストレスを溜めないってことは。自分欲があんまりないタイプなんで、なんに對しても。だから、基本平和にっていうのをアレしてやっていますね。ガツガツやるんじゃない。自分も負担にならない程度の感じの営業っていうか。客層も多分そうだと思うし、アタシの適当な感じが合う人はいっぱい来るだろうって感じで。キチキチしたのあんまり好きじゃないんで。良いか悪いか分かんないですけど。それが長くやっているとアレなのかな?って。

Q.GA-KOさんの2丁目デビューはいつ頃から?

GA-KOさん: 18の時、高校を卒業して地方から出てきてすぐって感じですね。

デリヘルくん: それですぐにお店に入られたんですか?

GA-KOさん: えっと、21、2くらいの時にお店に入りました。で、キャラもこんなじゃなかったんですけど、昔は坊主に髭でDJをやってたんですよ。だから今は全然雰囲気違うんですよ。元々クラブ好きでって感じでずっとやってました。

デリヘルくん: イベントも参加してたんですか?

GA-KOさん: バリバリ出てました。昔、CODEとかACEとかで色々やってた。実はそういうのも過去に(笑)

デリヘルくん: すごーい! 今も声がかかったりとかは?

GA-KOさん: 最初の方はちょっとありましたけど、もう時代も時代なんで、クラブからは離れて、水商売だけって感じですね。

デリヘルくん: プライベートでやったりとかもしないんですか?

GA-KOさん: しないです。もう、ジャンルを変えて、坊主髭とかじゃなくてみたいな。ちょっと変な路線に(笑)

デリヘルくん: どういう?(笑)

GA-KOさん: いや、ゲイだけどゲイがダメなんです。ダメっていうのは、ある日からゲイが恋愛対象にならなくなっちゃって、それでノンケとかが好きに

なっちゃって。どうしたらノンケを食うか?っていうのでちょっとジャンル変えたんですよ。ちょっと中性的にしてとか、嫌々やってるんですけどね、これ。別に坊主髭でも全然良かったんですけど、なんか無駄に恋愛対象が変わっちゃったからジャンル変えた、みたいな。そういう。

デリヘルくん: すごーい。

Q.ありがとうございます。最後に一言お願いします。

GA-KOさん: なんでも来いな店のなで、お酒が好きで興味ある人は是非。あと体育会が好きの人とか(笑) そういう感じの人は楽しめると思います。

デリヘルくん: ありがとうございました。



- 東京都新宿区新宿 2-12-16 セントフォービル 301 ●TEL 03-3353-2239
●営業時間 (コロナ禍は) 19:00~24:00 (定休日 無休)

“パンツを脱ぐ人と脱がせる人！ 二丁目を楽しむためのコミュニケーション方法とは？”



たけださん

Q.お店での相談等(お客さんから)はありますか?(HIV/性感染症等)

たけださん: 職業柄あるでしょうね。約28年くらいやってますけど、特にこの数年増えましたよ。もちろん誰もいない時ですけどね。ある程度人間関係が出来てるので、そういう話ができるのかなって思いますが、ママしか話せないのかなっていうのも一つです。例えば僕が病気になるかときに誰でもかかれでも話せる訳ではないですからね。だから話聞いてって言う人は身近な人でしょうけど。だから僕はその時は話を聞いて、もちろん答えなんて出るはずないんですけど、まあ昔に比べればね、深刻度は違うと思うので、HIVになっても、その人なりの感染症対策をしてセックスしてる人もいますし、必ず(自分のステータスを)カミングアウトしないとセックス出来ないっていうような心配性の方もいますし、それで悩んでずるずると出来ないじまいてる人もいますよね。

デリヘルくん: ママ自身はHIVにどんなイメージを持

たれてますか?

たけださん: でも変わりましたこの20年で。相談者たちから色々聞かれない? withコロナじゃないですけどね、withHIVって感じで。だけど無頓着ってのもアレですから、僕自身も全くエッチしない訳じゃないんですよ、やっぱりそこは頭に入れてやってますよ。



Q. たけださんはウクレレのイメージがありますが、ウクレレはずっとやられてたんですか?

たけださん: ウクレレはね、お客さんがピンゴか何かで当たった物を持ってきてくれたんですよ。僕元々バンドマンでキーボードやってたんですけど、音楽とは切っても切れなくて。今でも曲を作って歌ってもらったりしてるんです。で、ウクレレとはいえ楽器じゃないですか、だから捨てるのも嫌だったんで、お客さんいない時にポロポロやってたんです。流石にコードくらいわかるんで、なかなか面白いやつだなと思って。もっと良いやつを買いに行ったら少しづつ弾いてなんだかんだ20年くらいやってますかね。だけどウクレレのおかげで、前はキーボードだったんですけど音楽感が少し変わって曲も作ったりして。そんなことしてるうちにカラオケにも入るようになりました。

デリヘルくん: え〜!じゃあ印税も…?

たけださん: 立ち食い蕎麦くらい食べれますよ(笑)

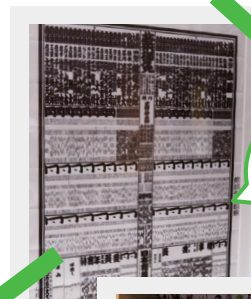
デリヘルくん: すごい!

たけださん: でも面白いなと思って、アレンジャーの人がビーイングの人で、著作権のこととかをやってくれたんですよ。僕はそういうの全然わからないので。形にしておかなきゃダメだよって言われて、プロってのはやっぱり形にしなきゃダメなんだって。僕もミュージシャンとしてやってましたけど、曲を作

るとか、詩を作るとか、クリエイターみたいな仕事考えてもいませんでしたから。そういうことなんだなって、じゃあ僕は形に出来なかったからサポートミュージシャンだったんだなって納得してますよね(笑)

デリヘルくん: いいですね。今でも弾かれてるんですか?

たけださん: そうですね、ただ歳のせいとか手が痛いんですよ。理学療法士とかいませんか? 本当に。

大関横綱の
両方をしている
白龍の番付書

お店は完全分煙バー!!



Q. お店に相撲の番付が飾ってありますが、相撲が好きなんですか?

たけださん: あれね、拾ったんですよ!

デリヘルくん: 拾ったっていうのは?

たけださん: ゴミ箱に捨ててあったんですよ。わかんないで捨てたんですかね? 相撲部屋からの封筒が落ちて。僕は相撲が好きですから、ちょっと見たら中に番付書が入ってたんですよ。横綱が大関を兼務している、大関横綱っていう両方の役を白龍がしてる番付書だったんですよ。これは欲しいと思って、それを世界堂で額に入れてもらって飾ったんです(笑)

デリヘルくん: そうだったんですね。

たけださん: そしたらね、番付書がある店なんだったって何人かいらっやいました。相撲ファンも結構多いんだと思って。

デリヘルくん: 拾われた物だったんですね。

たけださん: そうなんです。でも額は僕がお金出しましたからね(笑)



Q. ありがとうございます。最後に一言お願いします。

たけださん: 二丁目ってところはどうですかね、パンツを脱ぐ人と、脱がせる人が集まってる場所ですよ? ということはどういうことかと言うと、パンツを脱ぐフリとか脱がせるフリが出来ない一つも面白くない街なんですよ。そうするとフリが出来ない人が結構いるんですよ。自分のタイプの人しかとかかくアプローチが出来ないとか、アプローチをもらっても対応出来ないとか。

デリヘルくん: お〜! 確かにそうですね。

たけださん: 確かに変な人と関わるのが嫌だって気持ちもわかるんですけど、少なくともあの場所(バー)で30分~1時間そういうことをしたって損はないんじゃないかなって思うんですけどね。やっぱりフリ上手な人が二丁目で遊んで楽しい訳だし、コミュニケーションとかも上手くなるんじゃないかと思うけど。だって人と上手くコミュニケーションできるってものすごく楽しいことですよ。

デリヘルくん: 思いがけず深い話でびっくり! ありがとうございました。



●東京都新宿区新宿 2-14-16 タラクビル 4F ●TEL 03-6709-9547
●営業時間 平日 18:00～翌 3:00 / 土曜日 15:00～翌 5:00 (定休日 日・木曜日)

“名物はホットサンドと〇〇〇のジェネリック？ 飲み屋の常識を覆す、カフェみたいなゲイバー！”



ユタカさん

Q.デリバリーボーイズとのエピソードで印象的だったことは？

ユタカさん: 1人だけストレートだとは思いますが、初めてボランティアに参加したって女の子がいて、その子の名札に「うんこ」って書いてあったんですよ！

デリヘルくん:(笑)

ユタカさん: akta...嘘でしょって思ってた、すごいその女の子がハキハキしてて、めちゃくちゃいい子で、でも名前が「うんこ」で、もうどうしようかかって思って(笑)「お姉さんお名前大丈夫? うんこって書いてるよ」って突っ込んだら、「え? 違います~! “うんこ”です」って言われて、平仮名の「し」が雑誌に書いたんでしょね、どう考えても「うんこ」だよって。そこにたまたまお客様がいらっちゃって、みんな笑ってました。その後に「あのいい子だね」って、あっけらかんと笑ってて。それが一番印象的でした(笑)

デリヘルくん: その子からも同じ話を聞いてて、すご

く喜んでました(笑) その子は二丁目も初めてで、ボランティアも初めて参加して、結構構えてた部分があったらしいんですけど、初っ端NAUGHTYさんで緊張がほぐれてよかったって言ってました(笑)

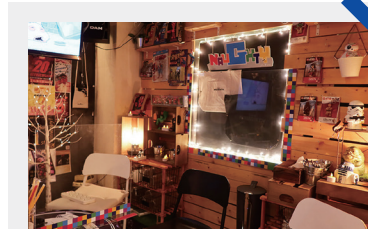
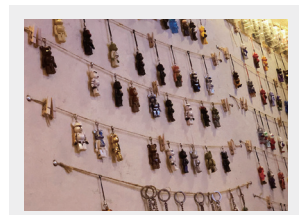
ユタカさん: 本当に? よかったです(笑)

Q.お店のコンセプトはなんですか？

ユタカさん: 店名に合わせて、ちょっと子供っぽい感じにしようと思って、ガジェットとかを置くようにしたのはんですけど、元々はなかったんですよ。

デリヘルくん: え、そーだったんですね！

ユタカさん: そうなんです、お客様から誕生日プレゼントでおもちゃをいただいて。それがすごく可愛くて飾りたいって思って。STARWARSのおもちゃをもらったんですけど、違うところで同じ大きさの違う種類のものを見つけて、いいなあと思ってここに置いてたら、どんどん増えていきました。これでも間引いたぐらいで、もっと多かったです。こうやって飾っていた時に、ぐちゃぐちゃになるのがすごい嫌だったんですけど、アメリカの男の子の部屋みたいな、おもちゃ箱ガチャーンってひっくり返したみたいにしたかったんで、一応そういうちょっとおもちゃな感じとか、子供っぽい感じは作ってますね。



店内にあるたくさんのガジェット

Q.ホットサンドやフローズンも出されてるんですね？

ユタカさん: オープンの時からホットサンドもフローズンもやってます。フローズンはスターバックスのフラペチーノを再現したいって思って。でもフラペチーノって言うアレなので、大人の事情でフローズンって言ってます。それでもお客様に言うときは、わかりやすくするために「スターバックスのフラペチーノのジェネリック」って言ってます。

デリヘルくん: わかりやすいです(笑)

ユタカさん: バーはお酒を嗜むところだよって意見を沢山いただいたんですよ、ありがたいことに。でもお酒を飲めない人っているじゃないですか。お酒飲めないけど、飲み屋さんに行きたい、でも飲めないから気を遣う、なんかちょっと居づらくなる、友達と遊んでもみんなが飲みに行く、自分は飲めないからみんなは自分に気を遣う、自分はみんなに気を遣う、みたいな現象って絶対起こるじゃないですか。なので、カフェみたいなゲイバーができたからお互いが気を遣わないで遊べるんじゃないかなって思ってたんですよ。飲み屋さんだからお酒を飲まなきゃいけないっていう考えを一回捨てようと思って。なので、うちお酒飲めないお客さんめっちゃ多いです。

デリヘルくん: そうなんですか？

ユタカさん: スタッフにも飲めない子がいます、アルコールアレルギーで。だからうちもどちらかって言ったら、テキーラとかイエガーとかでワイワイは全くなくて、みんなずっとならべてます。カラオケも出ないくらい。

デリヘルくん: カラオケもあるんですね！

ユタカさん: そうなの。知らなかったでしょ? カラオ

ケあまり出ないですね。

デリヘルくん: スピーカーにDAMって書いてありますもんね(笑)

ユタカさん: DAMの人にも言われます「カラオケしないですね〜」って(笑)



Q.メニューが凝ってますね！

ユタカさん: お会計いくらになるんだろうとか、特に初めてゲイバー行く人にとって思いませんか? 怖いから1杯で帰ろうと思った時に、大体1800円くらいで、「1杯1,800円なんだ...じゃー2杯飲んだら3,600円だ」って思ったりするじゃないですか。でもそういうのって恥ずかしくて聞けないってなった時に、メニューがあったらいいなと。でもメニュー見てたら「なんか飲む?」って聞かれるじゃないですか、でも若い子とか、手持ちない子とかが計算してんねん頭の中で。今はいらなくてあんまり言えない子もいるので、言えない人とか、マイノリティの人の方に寄せていこうと思って。だからメニューもいっぱい変な事書いてるんで、メニュー読んでもらって逃げられるじゃないですか。

デリヘルくん: あ〜、なるほど！

ユタカさん: だから基本的にそういった逃げ道が沢山あるようにしてます。

Q.ありがとうございます。最後に一言お願いします。

ユタカさん: 4周年目を迎えました、ありがとうございます。一応ゲイオンリーなんですけど、お酒が飲めなくてもゲイバー行ってみたって人はよかったです来て欲しいなと思います。でも階段です(笑)

デリヘルくん: ありがとうございます。

●東京都新宿区新宿 2-15-13 ナカエビルIII 4F ●TEL 03-5341-4587 ●営業時間 (新宿店)月~木 16:00~23:00 / 金 16:00~24 時間営業 / 土 24 時間営業 / 日 ~23:00 (上野店)月~木 16:00~23:00 / 金 16:00~24 時間営業 / 土 24 時間営業 / 日 ~23:00 (新橋店)月~木 18:00~23:00 / 金 18:00~翌 6:00 / 土 17:00~23:00 / 日 18:00~23:00 ●http://ashurabar.jp/access/

“阿修羅のごとく忙しい? 24時間営業の眠らない店舗!”



Q.デリバリーボーイズについてどのような印象を持たれていますか?



らんこさん:今の時代、性行為でのリスクを未然に防ぐためにも、コンドームが無料で配られるっていうのは、お酒を飲みに来てるお客さんにとっても、御手洗いから出る瞬間とかでも(コンドームが)あったら持って帰られる方もいらっしゃるの、私個人の意見としてはとても良い活動だと感じています。

デリヘルくん:お客さんの反応はどうですか?

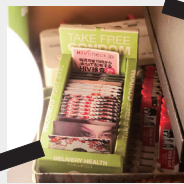
らんこさん:Ashuraって、aktaさんの真向かいのビルなので、ご存じの方が多いですね。知らない方が来られた場合は「そこだよ」ってすぐに案内するんですけど、結構知名度はあると思いますよ。



Q.お店のコンセプトはなんですか?



らんこさん:AshuraBarは現在4店舗あって、新宿、上野、新橋、銀座で、それぞれターゲットが違いますが、新宿はやっぱりゲイバーではありますけど、女性やノンケの方も来られるような、色んなセクシュアリティの方でワイワイしてるイメージ。上野、新橋はゲイオンリー。銀座は一応フライトカフェなので、コーヒーも出していたり、お酒もあるんですけど、新宿と同じで色んな層の方をターゲットにしている店になります。



カラオケ
ソロ目が出たら
テキーラ♪



らんこさん

デリヘルくん:客層もそれぞれで違うんですね。
らんこさん:そうですね、新宿は20代~70近い人も来てくれていて、すごい幅が広いんですね。

デリヘルくん:インタビューのオファーをしに行った時も年配の方が来てましたね!カラオケもさせて賑やかでした。

らんこさん:そうですね。一応日曜日はカラオケの採点でソロ目が出たらテキーラをサービスってことをやってまして。

デリヘルくん:テキーラ!(笑)

らんこさん:飲みたかないけど(笑) なんかね、遊び感覚で毎週通って来てくださってる60代のお客さんもいますね。

デリヘルくん:すご〜い!



Q.週末は24時間営業をされてるんですか?



らんこさん:そうですね、金曜日の昼の13時~日曜日の夜の23時までぶっ通

しで。一応労働基準法を守るってことで、8時間交代で人が変わります。

デリヘルくん:すごいですね!最初に24時間営業をしようと思ったキッカケって何だったんですか?

らんこさん:自分オープンした時からいるんですけど、最初オープンした時って確か、早い時間で終わってたんですね。でもやっぱりお客さんが来るようになって、週末って他の店舗さんは朝までやってたりするじゃないですか。朝まではやるようになったんですけど、何かAshuraにセールスポイントはないかってことで、連続営業にしたんだと思います。なかなかないじゃないですか?

デリヘルくん:そうですね。

らんこさん:大体一旦閉めるじゃないですか?例えば1部が終わっても2部で、みたいな感じで。ここ(AshuraBar)はもう、キチガイバー(笑)

デリヘルくん:(笑)1店舗で眠らない街を再現されてるのはすごいですね!



Q.ママさんとして心がけていることはありますか?



らんこさん:オーナーはいますけど、その店舗を任されているところもあるんです。そこはママになって、自分の中でもしっかりしなきゃなって感じています。あとはスタッフの時は横並びでなあなあなところもありましたけど、元々人に対して強く言うのが得意ではないんですけど、強く言わなきゃいけないこともあるので、そういった難しさがありますね。それでスタッフとの関係性も悪くなることもあるけど、責任者という立場で努めるようにしています。



Q.時代と共に変化してる二丁目の今後に期待することはありますか?



らんこさん:でもやっぱり出会いのツールが増えてきてるけど、人と会ってコミュニケーションを取ることって重要だと思うんですね。色んな人との繋がりになるから。今はちょっとコロナ禍でその分お客さんが減ったってこともあるので、もっと昔の活気を取り戻して、お客さんが来て、楽しみながら色んな繋がりを作って。そんな風に盛り上がってきて欲しいなって思いますね。今少しずつ戻ってきてはいるけど、以前に比べたらまだまだだと思ってるところもあるので。あとは、二

丁目って昔からある街で独特じゃないですか。だから多分衰退することもないと思うんです。これからもずっと生きて、その中で色んなお店が出来て、色んなお客さんが来るような、ターゲット層が変わってくると思うんです。みなさん年齢を重ねて歳をとると(飲み)に出なくなる人もいるので、百年時代って言ってますけど、年取っても行けるお店があるっていいなって思いますね。

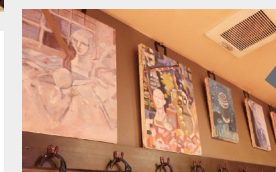


Q.ありがとうございます。最後に一言お願いします。



らんこさん:YouTubeでは「劇団阿修羅バー」って、大々的に力を入れてるコンテンツもありますので、是非チャンネル登録をお願いします。既存店の新宿店が9年目、上野店が7年目になるんですけども、新店舗の新橋店、銀座店ももっともっとお客さんに来ていただけるように認知度を高めていきたいです。それぞれAshuraBarグループ4店舗ありますけど、それぞれカラーが違いますので、お待ちしております。

デリヘルくん:ありがとうございました。



新宿店に並んでる絵画たち



●東京都台東区上野 7-10-5 シャトービル上野 ●TEL 080-7966-4400
●営業時間 18:00~24:00 (定休日 日曜日) ●X@shishimaru_bar

最新情報からセックスの話まで！ フランクに飛び交う上野のバー！いよっ！！



CAGE(ケージ)さん

Q.aktaのことは以前から知っていましたか？

CAGEさん: はい。以前aktaさんの資料で、お店のマスターの特集か何かで、画像を沢山載せているものがあつたかと思うんですけど。それを見てaktaって書いてあつたので「aktaって何？」って思って、その資料が置いてあつたお店の人に聞いたら、ゲイの人たちを中心に健康問題について啓蒙活動をされているNPO団体だと伺いました。

デリヘルくん: その時は新宿のお店だったんですか？

CAGEさん: そうですね。新宿でよく飲んでました(笑)

デリヘルくん: (笑) その時のaktaの活動に対する印象ってどんな感じでした？

CAGEさん: その当時、なかなかそういった啓蒙団体がなかったと思うので、非常にいいなと思ってたんですけど、同時に資金面や人材とかどういう風

に確保して活動してたのかなって、大変だろうなって感じていました。



Q.コンドームをキッカケに店内で会話につながることはありますか？



CAGEさん: そうですね、コンドームちゃんと使うんだって話だったりとか、PrEP(プレップ)の話題なんかは今時なので会話に出て来たりして。ナマでって話になるんですけど「ナマでやっても他の感染症のリスクはあるし、気をつけるんだよ」って事は話をさせていただいてます。

デリヘルくん: PrEPについては、お客さんからは具体的にどんな内容が話されてますか？

CAGEさん: PrEPって何？とか、例えばデイリーとオンデマンドって方法があって、デイリーは日常的に毎日服用するタイプと、オンデマンドはセックスの前後で服用するタイプがあるよとか、わたしもそこまで詳しくはないので、今ネットで検索すれば出てくるので、興味があつたら調べてみてって話をしたり。もっと詳しくって場合は、昔からの知り合いがやっているクリニックを紹介して、相談してみたら？って話をしたりしますね。

デリヘルくん: 実はakta YouTubeチャンネルでもPrEPについて取り扱った内容の動画を上げているので、そこも紹介してもらえたら嬉しいです(笑)

CAGEさん: わかりました(笑)「aktaのYouTube!」

デリヘルくん: そういう情報がフランクに伝えられる環境って大事ですね。他にもセックス自体の話なんかも飛び交ったりしますか？

CAGEさん: 上野にもハッテン場が何店舗かあるので「行ってきたよ〜」「どうだった？」みたいな話とかはしたりしますけどね。詳しい話はナマナマしくなっちゃうんで言えないですけど(笑)



ボトルが入ったら太鼓が鳴る!?



お店の
獅子イラスト
コースター★



デリヘルくん: (笑)

CAGEさん: でも最近は本当に色々なタイプの人がいるので、セックスが好きじゃない人もいたりして、なんでもカテゴライズしたがる人もいるけど、そのカテゴリーに当てはまらない人もいらっしゃる。まだお店始めて半年くらいですけど、お客さんから聞いて色々な人がいるんだって勉強になってますね。



Q.お店の名前(しし〇)の由来はなんですか？



CAGEさん: 和太鼓を10年程やってまして、当時サラリーマンだったんですけど、モヒカンだったんです。あまりお客様をお相手することもなかったの、まじっかみたいな(笑) 特に周りからも何も言われてなかったの。

デリヘルくん: え〜すごい!!(笑)

CAGEさん: モヒカンの影響もあってか、和太鼓の師匠がケージって名前を覚えてくれなくて、ずっと「ししまるちゃん」って言われてたんです(笑) それで、お店を始める時にこの名前にしようと思って、他のお店で使われてないか検索したらなかったの、大丈夫かなと。それで「ししまる」の「まる」を

「〇」にして差別化をして。なのでニックネームからお店の名前に展開させていただきました。
デリヘルくん: そうだったんですね〜。じゃあ、お師匠さんが名付け親なんですね。



Q.お店を始めようと思ったキッカケは？



CAGEさん: 丁度10年くらい前に、中野に「proud」さんってお店があつて。そこでお手伝いをさせていただいて、一人営業もやらせていただいたんですけど。なんかすごい楽しかったんですね。今55歳で、定年が65歳になっていて、あと10年か。動けるうちに何かしたいなって考えていたのと、退職金も早くに出ることもプラスアルファで。ゲイに生まれたので、ゲイに関わる職業をしたいなと思って。バー以外にも、aktaさんのようなゲイのNPOや活動団体も考えていたりとか。他にわたしが出れる範囲で起業するとか。その3つの選択肢の中でゲイバーを今のところチョイスしたって感じですかね。やっぱり楽しかったな〜と思って、でも実際に始めたらハードだなんて思って(笑) まあ楽しいですけどね。

デリヘルくん: aktaのようなNPO団体も選択肢にあつたんですね!

CAGEさん: 会社でLGBT講習みたいなことを、総務とかを呼んでやったりとかして、そう言った講師とかも悪くないなと思って。色々な内容を扱って啓蒙をするのも一つの手かなと考えてはいましたね。



Q.ありがとうございます。最後に一言お願いします。



CAGEさん: 上野しし〇のCAGEと申します!是非とも遊びに来て下さい!!いよっ!!

デリヘルくん: ありがとうございます。



●東京都新宿区新宿 2-14-9 島崎ビル 5F ●TEL 03-6709-9547
●営業時間 20:00～翌 3:00 (定休日 なし) ●X@PUZZLE74971296

“まさかの展開?運命の店舗! 30秒無言? 即興オープン動画の謎に迫る! 飲むのー!!”



たけるさん



Q.コンドーム設置のキッカケは?

たけるさん:ここでお店をやる前に、初めて(デリバリーボーイズを)見たのが上の階のMONSOONさんで、コンドームを持ってきてるところを見た感じだと思うんですね。

実際にお店を始める時に、(デリバリーボーイズを)どうやってスタートするのかわからなかったんですけど、たまたまaktaの方がお店に来てくださって「(コンドームを置くには)どうしたらいいんですか?」って聞いたら、「置いてくれるんですか?」って流れて置かせてもらうようになって。



Q.店内でセックスについて会話になることもありますか?

たけるさん:たまには。ぼくはあんまり喋らないので。

デリヘルくん:じゃーそんなに積極的に出ない感じなんですかね?

たけるさん:…してますけどね(笑)

デリヘルくん:(笑)

たけるさん:場所柄やっぱ、なんとなく話が出るじゃないですか、なので普通には出ますけどね(笑)

デリヘルくん:その時って、性感染症のことも出たりしますか?

たけるさん:ありますね。どうしてもハッテン場の話とかになったら、そういう話も出てくるじゃないですか。なんとなくそういうのも聞いたりしてますけど。

デリヘルくん:ハッテン場の話も出たりするんですね。

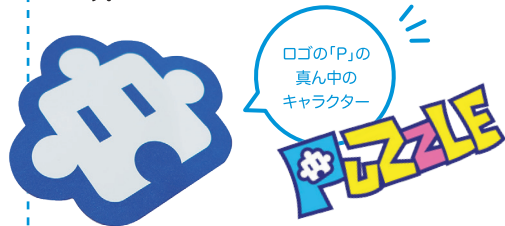
たけるさん:そうですね。この後どうする?みたいな(笑) 朝方までいれば、そのまま(ハッテン場)に行く人もいだろうし(笑) その辺は割とオープンに話してる人もいかな。



Q.オープンツイート動画を撮られてるのが印象的ですね!



たけるさん:ぼく元々新宿でお店出す前に、横浜でお店やってたんです。それはほぼほぼノンケさん相手だったんですけど。どうせならTwitterもやってるしと思って、一応ゲイバーなんですけど、9割5分くらいノンケのお客さんなんです。ゲイのお客さんも来たらいいな〜くらいの気持ちで、向こう(横浜)のお店の時に始めたんです。



デリヘルくん:そうだったんですね〜。

たけるさん:それキッカケに、ゲイのお客さんが来てくれるようになったりもして。なのでそのままこっち(新宿)のお店つくった時も同じようにやろかなと思って。それで動画やってます。

デリヘルくん:いつも喋る内容は考えてから撮ってるんですか?

たけるさん:何も考えてない(笑)

デリヘルくん:(笑) 回しながら考えるんですか?

たけるさん:そう。本当に話すこと無いなって思いながら、もう一人(副店長)いるんですけど、2人で無言の時間が30秒くらいあったりとか(笑)



Q.お通しガッツリ作られていますよね?

たけるさん:今も週末しか作ってないんですけど。



デリヘルくん:そうなんです。

たけるさん:コロナ禍で手料理食べたくない人とかいっぱいいたじゃないですか。なので、1回やめたんですけど、また最近作ろうかなと思って、週末は割としっかり作ってます。

デリヘルくん:ママさんが作られてるんですか?

たけるさん:そうです。

デリヘルくん:元々料理はされてたんですか?

たけるさん:料理好きなので。でもレパートリーが無いから、お客さんに「来週何食べたい?」って聞くんです(笑) これって言われたら、作れるなと思って作るんですけど。

デリヘルくん:じゃー、もしかしたら希望の料理が食べれる可能性があるんですね?

たけるさん:そうですね(笑)

デリヘルくん:その人は二週連続で来なきゃですね!(笑)

たけるさん:そうですね(笑)

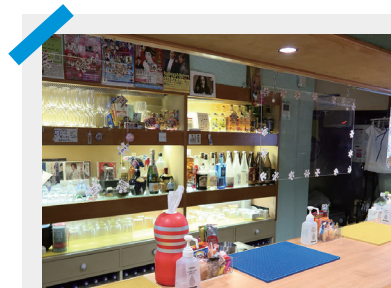


Q.ママになったキッカケはなんですか?

たけるさん:若い時に二丁目で店子してて、1回辞めて昼間の仕事をして、その後27〜28歳くらいの時に横浜にお店を出しました。

デリヘルくん:最初は二丁目だったんですね。

たけるさん:GAKOさんわかります? ガーちゃんが「motion」ってお店をやった時に、ちょこっただけバイトさせてもらってました。



ポップなカラーでかわいし1店内

デリヘルくん:GAKOさん、このマンスリーインタビューでも「mucho」さんとして撮らせていただきました。

たけるさん:それこそ、ガーちゃんがMONSOONにいる時からなので、結構付き合いは長いですね。

デリヘルくん:繋がりがありますね! ジャーお店選びもMONSOONの入ってるビルだから選んだとかあるんですか?

たけるさん:たまたまですね(笑) 人に紹介してもらったんですけど、当日内見に来る日まで場所も教えてくれなくて、どこなんだろうって来たら「ここ」って言われて(笑)「明日来れないんだったらもうなくなるから」って言われてたので、たまたまタイミングもあって。

デリヘルくん:ええ〜! じゃあもしかしたら別の場所に出してた可能性もあったんですね〜。

たけるさん:本当にタイミングと運がよかったですね。まさか人生で一番最初に行ったゲイバーの下でやるとは思っていませんでしたけど(笑)

デリヘルくん:すごい! 運命を感じちゃいますね!



Q.今後二丁目の街に期待することは?

たけるさん:今は飲み屋に行かなくても出会えるじゃないですか。スマホ1つで。なんかこういったところがあるよって事も、なんとなく若い子たちにもわかって、ちょっと飲みに行ってみようかなみたくなれば良いですね。スマホの中で完結しないで。

デリヘルくん:ありがとうございました。

●東京都新宿区新宿 2-15-9 笑楽校ビル 1FR 号 ●TEL 03-3351-4755
●営業時間 21:00~翌 6:00 (定休日 月曜日) ●X@myanmar_beatup

“ 後から気づいた店名の意味に驚愕! ? アイドルがやってるキチ○イバー! ”



Q. HIVに関して、どのような印象を持っていますか?



浅香みゃんまーさん: 過去でいうともらっちゃったら終わりなのかなって思ってたんだけど、今は死ぬ病気ではないし。ただ自分がもらっちゃうと毎日同じ時間に薬を飲まなきゃいけないというのはちょっと無理だなとは思って、お酒も飲んじやうから。だから気をつけなきゃとは思いつつながらですね(笑) まあでも個人輸入でPrEPは手に入れましたけども(笑) そういう印象ですね。まあもう死ぬ病気じゃないから、ちゃんと治療すれば。

デリヘルくん: 今PrEPの話が出ましたが、そういった話題もお店の中では出ますか?

浅香みゃんまーさん: お客さんからはないけど、自分から発しています。自分もコロナになって時間ができて暇な時にネットいじってたら出てきて。そういえばあったなと思って調べて、自分で買いましたね。ついでに勃起薬も買みたい(笑) ネコなのについて(笑)

デリヘルくん: (笑)



80年代アイドル好きには堪らない!!?



浅香みゃんまーさん



Q. お店の名前 (BEAT UP!) の由来はなんですか?



浅香みゃんまーさん: 浅香唯さんの歌なんです。わかります? スケバン刑事をやった人で、この人が一番好きなので。だからアルバム曲なんですけど、BEATを上げてテンション上げて頑張ろう! みたいな歌なので、コンセプトとしてはいいかなと思ったんですけど。「BEAT UP」って直訳すると「ヒートアップして殴る」って意味らしくて(笑) あれーと思って、付けた後に知ったので。

デリヘルくん: そうなんですね(笑) ママさんのお名前の由来も聞いてもいいですか?

浅香みゃんまーさん: まあ「浅香唯」からの苗字は自分で勝手に付けたんですけど。20年くらい前に「あらら」ってお店でバイトしてまして、その時の先輩に付けられた「みゃんまー」なんです。だから理由は特にないんですけど、そこから自分で平仮名にしたらかわいいなと思って、そこは拘りで。でもなん

だかんだ良い名前をもらったなと思ってます。あんまり二丁目にもいないだろうし、いたら今更「あんた誰に断ってやってんの?」って言いたくなっちゃうくらいだけ(笑)

デリヘルくん: (笑) ジャー特に(国の)ミャンマーに由来がある訳じゃないんですね。

浅香みゃんまーさん: 特にはないですね。

デリヘルくん: なるほど(笑) 名前の由来が解明されてよかったです(笑)



Q. お店のコンセプトは何か決めているものはありますか?



浅香みゃんまーさん: …キチ○イバー(笑) 後はアイドル好きなので、アイドル好きの店というのを出してる感じで。趣味を丸出しにした方が、つながる人とかもあるかなって。

デリヘルくん: アイドルは全般ですか?

浅香みゃんまーさん: 80年代アイドルがとりあえず一番。今はももクロの事務所の子たちぐらいかな。しょっちゅうイベント行ってる(笑) この間2時間しか寝ないでイベント行ったからね(笑)

デリヘルくん: いまの一押しアイドルは?

浅香みゃんまーさん: 今は「ばってん少女隊」っていう、ももクロの妹分なんだけど、これこの間のイベントの時の写真(ばってん少女隊と一緒に撮られた写真)本当に何やってんだかって(笑) これが2時間しか寝ないで行ったやつよ(笑)

デリヘルくん: それだけハードスケジュールながらイベントに参加する原動力は?

浅香みゃんまーさん: とりあえず自分が元気をもらわないと、お客さんに元気を配るものでもあると思うから。あとストレス解消っていうのも、ストレスってメーターがある訳じゃないじゃない? だから自分が好きなことをしっかりやらないと、なんか怖くなって思う。アイドルには昔から元気以上のものをもらってるから応援するのは、現場行かないと、お金使わないといけなかなと。だからイベントの前にお客さんに「酒飲んで〜! グッズ買わなきゃいけないの!!」つって(笑)

デリヘルくん: (笑)



Q. ママになったキッカケはなんですか?

浅香みゃんまーさん: 元々料理の仕事をしてたか

ら、居酒屋さんとかの店を持ちたいってのはあったのよ。一応ママ業としては2年くらいあるんですけど、それも全部切っちゃって。まあ本当はね、年数って必要じゃん。だけどそれも全部切っちゃって、1からやり直して形でやって、今になります。

デリヘルくん: そういった経緯があったんですね。

浅香みゃんまーさん: 色々あったのよ…。

デリヘルくん: ママさんとして意識してることはありますか?

浅香みゃんまーさん: お客さんだけど、友達営業にはなってる感じ。友達ではあるんだけど最終的にはお客さんだってことは忘れないように。だけど仲良くはさせてもらってるんですけど。それと、この場所(お店)を自分の居場所だと思って、それで自分の居場所を守らなきゃって思ってたんですけど。もう今はみんなの居場所になっちゃってるので。毎週来るちょっと頭おかしい人たちもいるので(笑) そのためにはココを守らなきゃなとは思ってます。

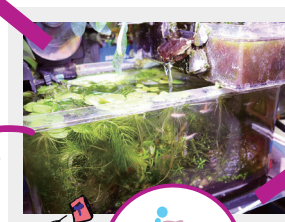


Q. ありがとうございます。最後に一言お願いします。



浅香みゃんまーさん: 11月はじめの方に12周年パーティーがあります。洋服も作らない! 二丁目はやっぱり楽しい街なので、お金を持ってきて楽しくお酒飲んでくれればと思います。

デリヘルくん: ありがとうございます。



トイレにメダカさん!!



- 東京都新宿区新宿 2-15-13 茂美ビル 2F ●TEL 03-3354-6695
- 営業時間 Twitter アカウントの営業ツイートで日々ご案内 (定休日 水・木曜日)
- X@Mstyle369

“世代間交流大歓迎！ 松田聖子と昭和歌謡をこよなく愛す優しいお店！”



ともゆきさん

Q.コンドーム設置の反応は？

ともゆきさん: やっぱりパッケージが毎回変わるじゃないですか。かわいいのがあったり、人が写ってたらその人がちょっとイケメンさんとかだったりすると「これ良いから持ってくね」みたいな人はいますね。その後使うかどうかはちょっと正直わかんないですけど(笑)

デリヘルくん: コンドームをキッカケにセックスやセクシュアルヘルスについて会話につながることはありますか？

ともゆきさん: ありますね。やはりaktaさんは「梅毒」とか「HIV」とか「サル痘」とか、いろいろ資料を持ってきてくださるじゃないですか、そうするとやっぱり皆さん「気をつけてくださいね」「大丈夫ですか」みたいな話から、「公衆ハッテン浴場」に行かれる方もいるので(笑) 余計気をつけなきゃっていう注意喚起にはなってると思います。

デリヘルくん: 公衆ハッテン浴場(笑)

Q.お店のコンセプトは何か決めているものはありますか？

ともゆきさん: わたくしは松田聖子が好きなので松田聖子と、あと昭和歌謡というか80年代アイドルとか、その後のJ-POP関係が中心で、永遠店内に流れてます(笑)

デリヘルくん: お客様は、松田聖子さんや昭和歌謡が好きな方が多く来られるんですか？

ともゆきさん: そうですね。やっぱりそういうのを見てきましたっていう人もいますし、そうすると当時の話とか、自分が若かった頃の「あの曲が出た頃は自分こうしてた」みたいな、いろんな思い出話とかがあるわけですよ(笑) 言いたがりも多いので(笑)

デリヘルくん: ああ(笑)

ともゆきさん: 「あのときはこうだったのよ、もうボロボロだったね」とかさ(笑) そうかと思えば30代とか若い人は「まだ5歳です」とか「生まれてません」とかっていう、そういう世代になっちゃってるので。逆にそこでドッカンドッカン笑いながら(笑)

松田聖子&
昭和歌謡曲♪
好き集まれ

デリヘルくん: (笑) じゃあ特に年齢とか体型とかっていうのは縛ってるわけではないですね。

ともゆきさん: ないですね。

デリヘルくん: どなたでも来て大丈夫なんですね。

ともゆきさん: はい、大丈夫です。



Q.YouTubeチャンネルも開設されていますが、どんなチャンネルですか？



ともゆきさん: まだ始めたばかりなんですけど、最初に始めるときは、一応この「飲み屋のトーク」を出したら面白いのかなっていう話がお客さんからあって。せっかくの機会だからやるだけやってみたら? うまくいく、いかないは別の物として。それでM-styleを知っていただいて、興味が湧いて、もしかしたら来てくれる人もいるかもしれないっていうところで始めたんです。ちょうどその本来やろうとしてた内容っていうのが、みんな音声を変えて、ここで好き放題、言いたい放題。実際に撮った時の内容は和久井映見ネタなんですけど(笑) 終始和久井映見が昔と違って今豹変したなって(笑)

デリヘルくん: (笑)

ともゆきさん: だから動画の最初に「これはあくまでも私見なので、ディスってるものでも何でもありませんよ」とは謳った上で、あげてみたんですけど(笑) もう最近の松坂慶子かみたいな話が出たりとか、その時だけで盛り上がるのもなんか勿体ないよねっていう話があって。だからゆくゆくはね、松田聖子ネタっていうのもやれたらと思ってんですけど。「聖子パーで、松田聖子ネタは早すぎる」ってみんなが言って。

デリヘルくん: (笑)

ともゆきさん: だから動画の最初に「これはあくまでも私見なので、ディスってるものでも何でもありませんよ」とは謳った上で、あげてみたんですけど(笑) もう最近の松坂慶子かみたいな話が出たりとか、その時だけで盛り上がるのもなんか勿体ないよねっていう話があって。だからゆくゆくはね、松田聖子ネタっていうのもやれたらと思ってんですけど。「聖子パーで、松田聖子ネタは早すぎる」ってみんなが言って。

デリヘルくん: なるほど!

ともゆきさん: 最初はもう軽いところ…軽くもないか(笑)



Q.二丁目についてのイメージと、今後に期待することは？



ともゆきさん: 実は私まだ二丁目経験という、ゲイ歴は実はまだ17年ぐらいしかないんですね。55なんですけど(笑) だから初めて来たときって本当「こんな世界があるんだ」っていうところから始まるので、すごいテンション高い状態で、すごい楽しく飲ませていただいてたんですけど。やっぱりね、最近の傾向もあるのかも

しれないんですけど、ノンケさんと女の人が結構増えてくる印象があって、ミックスが増えているっていうのもあるからだと思うんですけど。だからゲイの方が、結構気にしながらこの界隈を闊歩してるのかなってイメージが今あって。だから何か昔みたいな2丁目=ゲイですよ。もしくはレズビアンですよ。みたいなのが、薄まらないようにっていうのはありますね。やっぱりゲイだからこのエリアにいるのに、例えばノンケの同僚とばったり会っちゃうとかが出てきてるみたいなので。それだとやっぱりお客さんも気が気じゃないよねっていう。なので難しいでしょうけどね、流れだから。でもゲイタウンのままていてっていう感じはありますね。

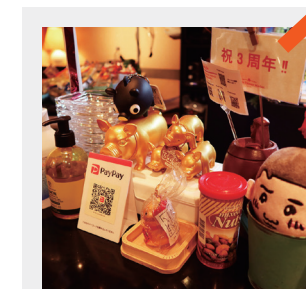


Q.ありがとうございます。最後に一言お願いします。



ともゆきさん: 年齢層も幅広く20代～60代までお客さんがいますので、世代間交流しに来てください。お客さんも優しいお店です。1人ぼっちにさせないところがあるので、いい意味でも悪い意味でも巻き込む感じ(笑) 気負わず楽しめるお店なので、遠慮なさらず2階のお店ですけど、よかったら上がってきてください。

デリヘルくん: ありがとうございます。



世代間交流が楽しめる!!



“セックスの話はポップでありたい？ 店内の会話を聞いて感じる思いとは？”



タロさん

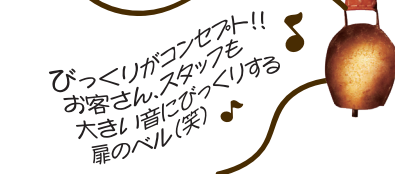
Q.スタッフが訪問した時の印象などありますか？

タロさん:結構いろんな人いるじゃないですか?本当にいろんな人がいるので、いろんな人を見て楽しいじゃないですけど、基本的に自分の店に来るお客さんを一番見ることが多いけど、こういう子たちも世の中にいるんだなって。男女問わず、外国の方もいらっしやったり。そういったいろんな人たちが参加して活動してるんだなって。

デリヘルくん:お客さんの反応はどうですか？

タロさん:若干知らない人もいますよね。「あの人は何なの?」って言われるから、こういうのがあってって説明する感じのことがあります。知らないって事が一番笑えるっていうか、「知らないって何年来てるの?いつも二丁目にいるけど知らないってすごいね」みたいな。だからある意味、活動自体が馴染んでるんでしょうね、多分。

デリヘルくん:コンドーム自体の認知はあるけど、配ってる人がいるのはあまり知られてないんですか



ね?

タロさん:当たり前にあるものだと思ってる人が多いから、そうじゃないんだって説明するようにしてる。勝手にごっそり持っていくよね、お金(募金)入れなさいって(笑) ヒヤヒヤするから毎年回収の時に「あ〜入ってないかも」ってなるので、毎週入ってるかカランカランって調べてます(笑)

Q.店内でSEXについて会話することはありますか？

タロさん:あります。セックスの話になりがちですよね、飲み屋だし。相手のプレイ内容聞いて「へえ〜」みたいな。思ったよりみんなセックスの話プラスで性感症とかについても考えはあるんだろうなって思うこともあったり。いろんな意味で見ることが出来るのかもしれないけど。

デリヘルくん:結構ラフにセックスの会話が出るんですね。

タロさん:そうですね、なんかでも結構ポップでありたくないですか?セックスの話って。ポップである反面、意識してないといけないみたいなものもあるからかもしれない。逆に話さない方が意外に意識してないのかなっていう。「こういう事やっちゃってさ〜」みたいな失敗談じゃないですけど、ああいうのもポップに話せて、そういうのヤバイよねって会話にはなりやすいから、なんかポップに話せる方がいいのかなって。



Q.お店のコンセプトはなんですか？

タロさん:コンセプトが難しい。なんか公民館みたいであって欲しい。誰でも来れるような、ある程度は。「最近〇〇があったんだよね」みたいな、何でも病気の話でも楽しい話でもいいんですけど。「ちょっと聞いてよ」って来れるようなお店でありたい。それをイコールコンセプトなのかっていうと難しいんですけど。気軽に来て「来たよ〜じゃあね〜」とかで帰れる店。多分お客さんに聞いたら違うと思いますけど(笑) 何かがカフェバーだによって言われるんで、ですよ〜って(笑)

デリヘルくん:(笑)

タロさん:最近自分でもスナックみたいなもんよって言っちゃってるんで(笑)

デリヘルくん:お客さんの年齢層ってどれくらいなんですか？

タロさん:30代~40代が多いんですけど、下は20歳くらいから、上は70歳くらいまで来るので。

デリヘルくん:幅広いですね。

タロさん:親戚の家くらいの感じ?でやれたらいいかなって思ってる(笑) おっちゃんから若い子まで適度に喋ってるみたいな。でもコンセプトって難しいよね、他のお店とかどうしてるんだろ…。



Q.ママになったキッカケはなんだったんですか？

タロさん:29歳くらいの時に、29歳くらいって若い世代がどんどん出てくるじゃないですか。楽しいんだけど、ここにいちいけないかもって思ったって言うか。30くらいでみんな消えていく人多くない?(笑) この人この前までいたの

に30になったらいなくなったみたいの人をずっと見てて、このままだと居場所なくなるかもと思って、そう店を開こうって思ったのがキッカケの1つなんですけど。ちょっと自分の場所を作ろうかなみたいに思った気がする。居場所のない人もね、自分が辞めたら居場所なくなる人もいるなと思ったのもあって、居場所を作ろうみたいな。結構「居場所」の動機がデカいかも。いわゆる親戚の家とか公民館がいいって言うてるのが、居場所として楽な場所になりたいじゃないけど。すごい良い人ぶった会話ですけど(笑)

デリヘルくん:いやいや(笑)

タロさん:ああでもない、こうでもないという場所が必要じゃない?良いも悪いも笑い飛ばすみたいな場所でありたいと思ったのがキッカケなんだと思います。



「楽しい」を見つけることを意識しているタロさん



Q.ありがとうございます。最後に一言お願いします。



タロさん:食わず嫌じゃなく、味見くらいしてみたら?って思う。あの店はこういう店だから行かないとか、街自体もそうなんですけど、あの街こういう街だから行かないとか。じゃなくて、ちょっと味見してみたら?食わず嫌いが一番つながらない?つまんない中にも楽しさってあったりもするって、いつも思ってることなんですけど。3回くらい味見してみたら、苦い味も美味く感じるんじゃない?みたいな(笑)

デリヘルくん:すごい深いですね(笑) ありがとうございました。

- 東京都新宿区新宿 2-18-10 葛西店舗 201号室 ●TEL 03-3354-6540
●営業時間 毎日 19:00~ (定休日 元旦)

“これが最後かと思っちゃった？ 20周年という一大イベント！”



ユーイチさん(左)、おもちゃけんじさん(右)

- Q.コンドーム設置のお客さんの反応は？
ユーイチさん:でも最初カウンターに置いてたけど、減らなくて。
おもちゃけんじさん:ちょっと目の前じゃ取りづらいもね。
ユーイチさん:だから今はトイレに置いてるんですけど、そしたら結構減りが早くなりましたね。

デリヘルくん:コンドームをキッカケに店内で会話になることはありますか？

おもちゃけんじさん:デザインかわいいねとか、そういった話は聞いたことありますね。

ユーイチさん:そこまではって感じですが目の前に置いてた時の方が話題になってたけどね。あとデリバリーボーイズが訪問してくる時にお客さんがいたら「彼等は何の人なの？」とか、そういう話にはなるよね。

デリヘルくん:なるほど！

Q.店の名前(Cue!)の由来はなんですか？

ユーイチさん:はっきりしたことはあんまり覚えてないんですけど、あまり強い印象ではなく柔らかな感じにしかかったってのはあったと思います。

おもちゃけんじさん:カメラマンが撮る時に「キュー！」ってやるじゃない？それ！

ユーイチさん:「Cue!」の意味としてはそうなんです。「キッカケ」とか「始まり」とか。でも別にそういう名前を付けようって思ったわけじゃなくて、最初は「CUBE」って響きがいいんじゃない？ってなって、でも当時CUBEというお店はすでにある。それで「ぶ」を外して「きゅー」でいいじゃんってなったみたいな流れがあったはず。それで「きゅー」って何だろうって調べたら、さっき言った意味で、意味としても悪くないし、短いし言いやすい。あんまり長くて言いづらかったり、口にだすのも大変な店名だと話にも出ないじゃん。「この間どこ飲みに行ったの？」ってなっても言いづらくて言うのやめとこってなったら嫌だし。なるべく言いやすい名前にしたいってのもあったと思う。



Q.20周年を迎え、10年ぶりに周年パーティーを開催するそうですが。

ユーイチさん:10周年の時は、ここが狭いので他のお店を借りてやったんですよね。その後ここで飲み放題とかでやったりとかはしてたと思うんですけど、もう良くない？みたいになっちゃって(笑) でも結構昔は、おもちゃさんはそういうの(パーティー)をやるうって人だったんですよ。

おもちゃけんじさん:お客さんも喜ぶだろうし。

ユーイチさん:だけども今となつてはこの人(おもちゃさん)の方があんまりみたい(笑)

おもちゃけんじさん:大変だからね。

ユーイチさん:今年の20周年とかも、今までのパターンだとこの人が「どうなの？20周年やんないの？」とか言ってきて、僕の方が「しょうがないな、やる？」みたいな感じだったんだけど。もう一向にやろうって言い出さないから(笑)

おもちゃけんじさん:毎回お客さんから言われるからね「20周年はやるでしょ？」って。

ユーイチさん:仲の良いお店からも「Cue!はいつになったらやるの？」とかあって、じゃやりますかって。

デリヘルくん:10周年の時はお二人でショー的なことされてましたが、今回も何かやる予定はあるんですか？

ユーイチさん:何かしらやるかなとは思ってます。

デリヘルくん:もうすでにショーの準備や練習などはされてるんですか？

おもちゃけんじさん:まだだね。これからです(笑) ヤバいですね。

ユーイチさん:この人は特にギリギリにならないと出来ない人っていうか、典型的な夏休みの宿題を最後の3日くらいでやるタイプ。

おもちゃけんじさん:徹夜でやるタイプ。

ユーイチさん:僕は真逆です。7月中に終わらせて8月はダラダラ過ごすみたいな(笑)

デリヘルくん:夏休みの宿題をね(笑) 対照的なですね。

ユーイチさん:なので、僕はどんどん準備をしていきたいんですけど、この人がまあ一向に動かないので。

おもちゃけんじさん:これから頑張ります。

ユーイチさん:お店は閉める気はないし、このまま

平日の
一人営業は
しっとり!!



ちょうどビル
アットホーム感!!

やっといこうとは思ってるけど、でもその周年パーティーとか10年ぶりにやるわけですけど、このスパンで言ったら次は30周年になる。

デリヘルくん:そうですね。

ユーイチさん:30周年パーティーをやるかって言われたら、やんない気がするんですよ。

おもちゃけんじさん:生きてるかどうかかわかんないしね。

ユーイチさん:その可能性もあるし、もはや30周年のおじいちゃんがショータイムをやるってさ、わかんないけど。これが20代の頃からお店やってますって人だったら30年たつたってまだ50代だし、まだ出来るのかなと思うけど。僕らはこの人が40歳で僕が34歳から始めてるから。

おもちゃけんじさん:30周年だとわたし70歳になっちゃう。

ユーイチさん:30周年をやらないってなるとしたら、こういうパーティーみたいなものをやるのがもう最後かもしれない。なので最後だと思ったらパーってやりたいなって(笑)

デリヘルくん:じゃー今回の周年パーティーは今まで来てた人も含めて来て欲しいですね。

おもちゃけんじさん:初めての方でも全然ウェルカムです。

デリヘルくん:(笑) ありがとうございます。

- 東京都台東区上野 7-5-8 ワイズビル 3F ●TEL 03-6802-7575
- 営業時間 火～土 18:00～23:30 / 日 15:00～21:00 (定休日 月曜日)
- X@ueno_kabs



“30年前からHIVの活動に携わってきたカブさん、 当時のHIVに対する印象は・・・?”



カブさん

神社仏閣や
海・山を見るのが
好きですね

Q.aktaの活動は以前から認知されてましたか?

カブさん:初期の頃からaktaは知ってました。色々な啓発活動をやってくれて。

デリヘルくん:どういったところで知ったんですか?

カブさん:アカー(※)で配ってたから(笑)

デリヘルくん:そうだったんですね。アカーにはいつ頃から関わってたんですか?

カブさん:30年前。アカーでもHIVや性感染症の情報提供を行ってましたね。

デリヘルくん:アカーでもゲイバーとかにアウトリーチしてたんですか?

カブさん:30年前だから今みたいにお店がないよね。でも若い子が集まるお店にはaktaと同じような感じで回ってたかな。でもそういうの大事だね。

デリヘルくん:アカーに参加しようと思ったキッカケは?

カブさん:期間は短いんだけど、学生時代は暇だっ

たので(笑)誘われて、こういう世界もあるんだなあと思って手伝ったりしてました。人との出会いっていうのも、活動を通してあったりして楽しかったっていうのもあって。その当時はスタッフにゲイの人と、レズビアンの人が何人かいて、打ち合わせしてお店にチラシ配ったりとか。みんなどうしてるんだろ?今でも(活動が)続いているからaktaもアカーも応援しなくなっちゃうよね。

デリヘルくん:アカーさんも長いですがもんね。30年前だとHIVや性感染症の活動は大変だったんじゃないですか?

カブさん:偏見はすごいあったね。エイズになったら死ぬって言われていたし、今は治療が良くなっているから、うまく付き合っていくって感じだけだね。

※NPO法人アカーは1986年に設立されたLGBT&HIV+のためのサポートグループです。たくさんさんのボランティア&サポーターの協力により運営されています。

Q.aktaの資材コーナーを作ってくれてますよね?

カブさん:必要でしょ!一応目に付くところに大体置いてるのよ。最初入り口側に置いてたんだけど、入り口だと業者さんが出入りするから、奥に移動して。でもカウンターに座ったお客様の目に付きやすいってこともあって。

デリヘルくん:ありがたいですね。大事なスペースを使っていたらいい。

カブさん:今まで活動してる子って来なかったから、逆に来てくれてちょっと面白いなって思ったよね。個人じゃできないからね、コンドームを配るって。

デリヘルくん:そうですね。

カブさん:やっぱりこういうお店やってるから、お客さんと話をしながら、口でしか言えないんだよね。ゴムつけな!とか、性病に気をつけな!って。でもコンドームとか資材とかものがあると、もっとやりやすい。

デリヘルくん:そうやって使ってもらえるのはありがたいですね。

Q.お店をはじめようと思ったキッカケは?
カブさん:タイミング?(これまでに)浅草・上野のお店6～7軒を2年契約でスタッフで回って。このお店で最後にしようと思ってたら不動産屋から話に来て、ここを紹介されたから「やっちゃおうか」みたいになって。

デリヘルくん:そうだったんですね。他の店舗と結構(距離が)離れてますが、場所のこだわりはあったんですか?

カブさん:全然。エレベーターがないのが一番使いづらかったけど、でも酔っ払いが上がって来れないから逆にいいけど。まあ俺が酔っ払いだけだね(笑)

デリヘルくん:(笑)

カブさん:まだ階段から転んだことはないからね。道では転ぶんだけど。

デリヘルくん:危ない(笑) お店の名前の由来も聞いていいですか?

カブさん:カブラギの「カブ」に「s」をつけて「Kab's」。最初は「Kab」だけにしてたんだよね、あんまり覚えてないんだけど、友達が「s」付けたほうがいいよって。「s」を付けると、仲間内ができてから、みんな長い付き合いだから(笑)

Q.お店のコンセプトはありますか?

カブさん:結構ガチャガチャして汚いんだけど、シンプルイズベストがいいのかな。後はもう誰が来てでもカラオケがないから会話をいっぱいしたいなと思って。ほら閉まるのも早いじゃない?だからカラオケしたい人は、閉めた後でも色々(他のお店を)紹介できるし、後は終電でみんな帰れるように。だから新宿とは違うのはやっぱり朝までではやれない。この歳になって、朝のカラスの声聞いたことないもん(笑)

デリヘルくん:早く閉めた後はどうしてるんですか?

カブさん:夜は早く寝て、朝は早く起きて散歩。じじ

いじゃねーか(笑)

デリヘルくん:健康的でいいと思いますよ(笑)

カブさん:20代の時は二丁目とか、新橋とか行って、明け方まで飲んだりとかしたんだけど(今は)無理。もうここ14～15年は朝まで飲むことはないね。

Q.最後に、どんな方にお店に来て欲しいですか?

カブさん:かわいい子!

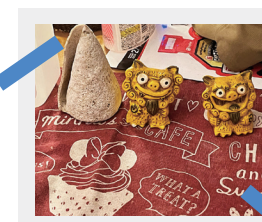
デリヘルくん:ストレートでいいですね(笑)

カブさん:気立てのいい子が大好き!あわよくば、かわいい子だといかな(笑) 与作かよ!!ヘイヘイホー(笑)

デリヘルくん:ありがとうございました(笑)



目につきやすい
aktaの資材コーナー



- 東京都新宿区新宿 2-15-13 第二中江ビル 1F ●TEL 03-6457-4057
- 営業時間 20:00~朝 4:00 ※ラスト入店 2:00 (定休日 なし、年始のみ)
- X@sakemirai

“わいせつ”なんじゃなくて“たいせつ” 性とは何か? 熱く語る日本酒バー!



吉野さん

Q.コンドーム設置の経緯は?

吉野さん: 元々この日本酒バー「傳」ができる前のお店、まあ今もやってますが、DOCKっていう、ゲイの中でもちょっとアダルトでセクシーな雰囲気のお店なんですけど、そこで、コンドームっていうと、一番基本中の基本じゃないですか。それが、当たり前前に街に置かれるようになって、身近な存在になったっていうところは、(aktaの)大変大きな功績だと思うんですよね。デリヘルくん: 前のお店からコンドームを置いてくれたんですね。お店にコンドームを置くことはどう思いましたか?

吉野さん: コンドームとか性の部分って語ることにタブーのようなものがあったりすると思うんです。でもそれが一番邪魔で、明るく語れて、情報の共有ができる方が、やっぱり良い。そういうところのきっかけに、飲み屋で、コンドームが置かれてるっていうのが、僕は優れた切り口だったなっていう風に思いますね。

デリヘルくん: ありがとうございます。性の会話って知識マウントになってしまいう時があって難しいですね。

吉野さん: 知識マウントってのはまさにそれで、知ってる側が知ってない側に、上流から下流に水を流すように、教える伝えるっていうのはある意味そういうものだけど、でもそこにやり方がちょっと違うだけで拒否反応を示しちゃったりとか。本当は性っていうのは、人間に当たり前に備わってる機能で、誰もがそれを楽しむっていうのは、僕は当たり前前のことだと思うんですよ。自分が生き生きとした人生を送ろうとすると、僕は必要なのは性だと思うんです。性は、「わいせつ」なんじゃなくて「たいせつ」なんだよって。

約30種類
日本酒
飲み放題!!

オススメの
銘柄が勢揃い!!
& おつまみも★



Q. 日本酒のお店を始めようと思ったきっかけはあるんですか?



吉野さん: もともと、僕、DOCKっていう別のお店がスタート地点で。そこで日本酒を置くようになって、日本酒のイベントを始めることになったんですね。そうしたら酒屋がねなんか面白がってくれて、半分冗談で「いつか二丁目に日本酒バーやりたいんですよ」ってことを言ったら、ある日突然「お前がやりたいっていった日本酒バーに丁度いい物件出たからやれ!」みたいな感じで、ものすごい剣幕で話を持ってきてくれて、それがこのお店の物件だったんです。



Q. 日本酒を楽しむ方法とあってあったりしますかね?



吉野さん: ウニの理論っていうのがあるんですけど。もうトロトロに溶けた生臭いウニを人生でいちばん最初に食べて、「もうウニはいいです」って、嫌いになっちゃう。日本酒もそれに近いところがあって。最初に飲んで酷い目に遭った印象で、「もう僕日本酒いいです」ってなっちゃう人、意外に多いんですね。

デリヘルくん: ああ〜

吉野さん: 日本酒を知ってもらうために、魅力的な価格、クラブっていう場所、色んな魅力を総動員してもう一回日本酒を、「あっこんなのあるんだ、じゃあ飲んでみよう」みたいな形で一回でも飲んでもらえば、濃醇でフルーティな、素晴らしい日本酒は数多くありますから。口当たりの良いお酒の、素晴らしい日本酒というのは数多くありますから、そういうのに出会ってもらおう。そこがやっぱり、一番大事なのかなあという風に思いますね。

デリヘルくん: おいしい日本酒は飲みやすくって、飲み過ぎてどんどん記憶が曖昧になるみたいな体験も...

吉野さん: ありますねえ(笑) 水を全く飲まないで、お酒だけスイスイやってると、口当たり良いものですから、割といけちゃうんですよ。うちの店の場合は、日本酒の世界で飲み水のことを「やわらぎ水」っていうんですけど、それをお客さんにお勧めして、お酒一杯飲む度に、二杯の水を飲む方が、翌日残らないですし、長い時間むしろ楽しんで飲めるので。

デリヘルくん: おお〜勉強になりました。

吉野さん: まあね〜でも日本酒ってエンジンがかかったらうんでね!(笑)



Q. 7月に開催されるイベントはどんなイベントですか?



吉野さん: 今年(2023年)の7月15日に、SUMMER BLASTって言う名前の、ワンチケットで全部を楽しんでもらえるっていうイベントをやりたいなと思ってます。私たちゲイの一番大きなイベント、パーティーはやっぱりageHaだったじゃないですか。規模は違えど、僕、それをこの新宿二丁目っていう町で再現できるんじゃないかなっていうふうに思ったんです。

デリヘルくん: いいイベントですね。

吉野さん: 30年前の二丁目って街自体に、ゲイのコミュニティとして出会うっていう目的があったわけなんですよ。その時の二丁目ってある意味「淫靡」というか、街ゆく人が行き交う男を、品定めするような目であったり、その着飾って、要は自分っていうものをアピールしながら・求めるっていう。僕はその時代の二丁目を見て育ってきたこともあるもんですから。そういう姿をもう一度この目で見たっていうのが自分なりの大きなモチベーションと言いますかね。ネットが普及して、色々なことが手元にいながらできるようになりましたけど、その日はネットで伝えられない体温や熱気を感じていたい。

デリヘルくん: (笑) ありがとうございます。



<https://summer-blast.com/>

“鳥居が目印! 和風コンセプトの真相と、意外と知られていない店内の〇〇!?”



Q.デリバリーボーイズについてどのような印象を持たれていますか?



のぞみさん: みんなすごい優しくて。「AiiROさんはもしかしたらこういう絵柄(コンドームの)がいいかもしれないです」とか、ご提案してくださる方もいらっしゃいますし、いつも丁寧な方になってイメージがすごいありますね。でもたまにちょっと恥ずかしがり屋な、引っ込み思案な子とかが、若々しくてかわいいなとか思って「今の子かわかったね」とかスタッフともすごい言ってます(笑) あと、お客様とかも「今の彼は誰?」とか。外国人の方にも聞かれることもあるので、「デリバリーボーイズっていったってaktaってこういう団体があるんだよ」って話すと「日本って素晴らしい国だね」って結構言ってくれる人が多いです。自分たちの国にはないから〜とか、アメリカとかだとそういう団体はお金がかかったりとかするし「フリーコンドーム? オーマイガッ!」みたいな。必ずみなさん手に取ってくださるんですけど、コレは何? って聞かれて、コンドームだって言うのと、最初みんな「え?」って言ってゲラゲラって笑うんですけど「これフリーなの?」ってなって「フリーだよ! 持ってってよかったら、ちゃんとセーフティしてね」って言ったりすると「すごいね! フリーだなんてありえない!」みたいな。

デリヘルくん: すごいですね、そんなに反応がもらえるなんて。

のぞみさん: いまツーリストの方が多いので、結構この感じの会話はほぼ毎週繰り広げられてるっていうか(笑)



Q.店内でセックスについて会話することはありますか?



のぞみさん: ほぼほぼ毎日なのでは? っていうくらい(笑) 女でやってるんですけど、



のぞみさん

わたしはレズビアンの方よりゲイの方の方がすごく多くて。なので普通にそれ(セックスの会話)が日常会話というか(笑) ほぼほぼセックスの会話ですね。24ってどこなんですか? とか(笑)

デリヘルくん: ハッテン場の場所を聞かれたりするんですね。

のぞみさん: 海外の人もめちゃくちゃ多いですよ。ハッテン場聞かれるのも「トクエンティフォー・ガイカ! トクエンティフォー・ガイカ!」 「え? トクエンティフォー・ガイカ!? あ、24ね!」みたいな(笑)

デリヘルくん: 会館は日本語なんですね(笑)

のぞみさん: そうそう「トクエンティフォー・ガイカ! do you know?」みたいな(笑) こっちもバグっちゃって、なんのことだろみたいな(笑) なので、誰も恥ずかしがることなく、全然セックスの話はです。



Q.AiiRO CAFEのコンセプトはありますか?

のぞみさん: 海外の人が考える和風! 日本人が考

える和だと、鳥居を建てるってなってるので、すごいなんか不謹慎すぎんだろみたいな(笑) 鳥居もちゃんとした鳥居職人に作ってもらってるんで、オープンから2〜3年くらいまでは真っ赤というか朱色だったんですよ。

デリヘルくん: そうなんですね! すごい!

のぞみさん: だけど不謹慎だよな〜ってやりながら思ってたんですけど、取って食われるわけじゃないしと思って。別に神様もうち居るわけじゃないので。海外の人が考える和風で、日本人から見ると和洋折衷みたいな。そういうイメージですね。なので下(床)も畳なんです。

デリヘルくん: あ、本当だ! 全然気づかなかった(笑)

のぞみさん: 本当にみんな気づいてなくて、ずっと来てるお客さんも「え? 待って、変えました?」って言われて、いや変えてねーからって(笑) もう9年目入ってるんだけどみたいな。

デリヘルくん: (笑)



外国人とも
すぐ仲良
なれるかも?

今はレインボー柄の鳥居!!
朱色だったの知ってる?



Q.二丁目の今後に期待することはなんですか?



のぞみさん: わたしはもっともっと周知されるべきだと思ってのってるんですが、その反面、わたしはLGBTQってすごい特別だと思って。わたしはあなたとは違うよってプライドがあるんですよ。普通のノンケさんには無いものをわたしは持っているから「ゴメンだけどあんたとは違うのすいませ〜ん」みたいな(笑) そういうのがあるから、スペシャルじゃなくなるなって不安はあります。周知されすぎると、ここ(二丁目)でやってるって

うプライドが、時代の変化によって一般的になってしまったらコンビニと変わらないかなって。特別感がなくなっちゃうし、それだけLGBTQって事はすごい素晴らしいって特別と思ってるので。もっと普通の人の認められたいわけじゃなくて、こういう街があって、こういう面白い人達が沢山いるんだって事は知ってほしいなって思うし、別に女も男もLGBTQも関係なくみんなが普通に集まって、今のように遊べる場所をわたしはやりたくてMIXバーでやってるんですよ。ノンケさんも「みんないいね〜、初めて来たんですよ。みんな楽しそうで素敵」って方も沢山いらっしゃるの。そういう分かってくれる方たちが、どんどん増えてたらいいな〜と思いますね。



Q.ありがとうございます。最後に一言お願いします。



のぞみさん: 自分が何か思い詰めたりとか、友達には話せないけど、ちょっと遠い存在の人だとボロッと話せたりするじゃないですか? そういう時に話せる場所を作りたいなって。そういうところが1つあるだけで、心の重みも全然変わるし。うち(AiiRO CAFE)じゃなくても全然いいので、自分の好きなところを作ってほしいなって思いますね。

デリヘルくん: ありがとうございます。



- 東京都新宿区新宿 5-10-5 プログレス新宿 4F ●TEL 03-6380-0889
- 営業時間 平日 19:00~翌 3:00 / 金土 19:00~翌 5:00 (定休日 月曜日)
- X@nora9ran

“ドエロよりも微エロ?に込められた思惑とは?”



Q.コンドームをキッカゲに店内で会話になることはありますか?



まっちゃんさん: いま「onPrEP」みたいな話とかにもなったりするから、コンドームの話題にも結構なりますね。「使ってる?」「PrEPだとHIVしか防げないじゃん」とかそういう話とか。それで梅毒のポスターとかもあったりするから「梅毒鼻取れるよ」とか(笑)「指が腐るとかも聞くよ」とかね(笑) そういう話とかにもなりますけどね。

デリヘルくん: 性感染症以外にも、セックス自体の会話はありますか?

まっちゃんさん: 全然しますね! ゲイバーなので(笑)

デリヘルくん: (笑) フランクに話しがでるんですね。



Q.お店の名(のら蔵)前の由来は蔵なんですか?



まっちゃんさん: のらりくらりとやっていてたらいになってところから、それをぎゅっと縮めて「のらくら」って名前にしています。

デリヘルくん: そこからきてたんですね!

まっちゃんさん: そうですね、あんまりカッコリやらない性格なので。のらりくらりと生きていきたい感じも含め(笑)

デリヘルくん: なるほど(笑) お店のコンセプトはありますか?



まっちゃんさん

水曜日は
禪デー!!
ぜひ来てね

まっちゃんさん: やっぱり和テイストですかね。基本的には自分が和の物が好きなので。あとは外国人のお客さんが来たときに喜んでもらえるかなーみたいな軽いインバウンド狙いも無くはないです。

デリヘルくん: 最初から内装はあんまり変わってないですか?

まっちゃんさん: 変わりましたね、最初ってたいしてお金がないところで始めたので、居抜きだったんですね。だから居抜きのソファーとか、全部そのまま使わせてもらったんで、最初の4年~5年間くらいはそのまま使っていました。

デリヘルくん: 土足禁止は前のお店のときからなんですか?

まっちゃんさん: わたしがこのお店を始める前は、絨毯バーだったんですね。でも土禁ではなかったと思います。

デリヘルくん: ジャー和テイストにするのに絨毯を量に変えたんですね。

まっちゃんさん: そうですね。この奥に「無らい」さんっていう禪バーの老舗店があって、そこにわたし

よく通ってたんですけど。そこがやっぱり靴を脱いで禪で飲むみたいなお店だったんですね。そこをいいなあと思ってすごく真似したくて、お店やるなら靴脱いでからおうとずっと思ってたのを、無らいさんのお店から発想を得て。そこはもう禪バーだったんですけどね、うちも水曜日は禪デーなんですけど。靴履いて禪ってのが自分の中でしっくりこなくて、やっぱり禪のときは靴脱いでっていうので、靴脱バーになりました。



Q.六尺系のお店は二丁目の中にもありますが、お客さんは回遊したりするんですかね?



まっちゃんさん: そういうイメージはありますよね。他店の情報とかが結構入ってきちゃうみたい。それで比較対象になるから、のら蔵が一番エロくないらしいんですね。なんかみなさんそういうランクを付けてるらしくて(笑) 教えてくれます。でもうちは本当にエロくはしたくないので。

デリヘルくん: ジャーそこはちゃんと評価されてるんですね。

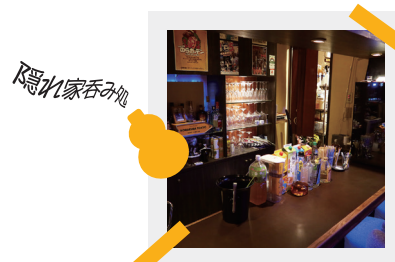
まっちゃんさん: そう! だから良かったなと思って。ドエロは嫌で「微エロだよ」っていうつも言うんですけど。微妙の微で、美しい方ではなく。だからちょっとエロいくらいがいい。なんかドエロくやっちゃうとみんなスッパリして帰っちゃうので、スッパリはさせないよっていう(笑)

デリヘルくん: なるほど(笑)

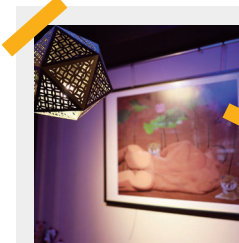
まっちゃんさん: ムラムラしたまま帰ってねって。

デリヘルくん: なんかあると掃除も大変ですもんね。

まっちゃんさん: そうなんです! 量だしね、絶対シミとかヤバいので。汁とか液だけは本当にこぼさないでよって、そういう風をお願いしています(笑)



隠れ家呑み処



店内には男絵が
たくさん!!



Q.まっちゃんさんの下積み時代はあったんですか?



まっちゃんさん: ほとんどなくて、ぼつと出なんですよ。みんなに心配されてました最初の頃は(笑) みなさんのお陰で今のわたしがある気がしています。

デリヘルくん: お店をやろうと思ったキッカゲはなんだったんですか?

まっちゃんさん: 自分が43の時に出てるんですけど、それまで勤めてた会社に定年まではいなくなって思っ、何しようかなと思った時に、お酒好きだし(笑) っていうくらいの本当に軽い気持ちでした。40代になったときくらいに1回やろうかなって相談したら、やったこともないのにって猛反対をくらって、厄年だしそんな時に始めるのめんどいと言われて。それで43歳の時にもう一回「厄年が明けたしどうかな?」って言ったら「まだそんなこと言ってるのか?」って言われたんですけど(笑) でもそこまでずっと考えてたんだしたら、逆にやってみればいいんじゃない?みたいなことを、周りの仲の良い人達が言ってくれて。

デリヘルくん: すごい! ジャー一念願叶ってお店だったんですね。

まっちゃんさん: そうですね。まあそれこそ「のらりくらり」じゃないですけど、ダメだったら辞めればいやくらいの軽い気持ちで始めたので。



Q.ありがとうございます。最後に一言お願いします。



まっちゃんさん: 気軽に来てくださって感じですかね。敷居が高いつて言われがちなんですけど、バリアフリーでやってるので(笑) 気軽に五丁目まで足を伸ばしてください(笑)

デリヘルくん: (笑) ありがとうございました。

- 東京都台東区上野 7-5-6 ライオンビル 101 ●TEL 080-4362-5559
- 営業時間 日~木 18:00~24:00 / 金土 18:00~4:00 (定休日 無休)
- X@uenozaza

“韓国ソウル出身のマスター、リクさんが語る 「発展場での13秒ルール」”



リクさん

デリヘルくん:今日は上野のザザさんというお店に参りました。

リクさん:皆さん初めまして、ZAZAのマスターのリクです。よろしくお願いします。안녕하세요(アニョハセヨ)。



Q.お店のコンセプトを教えてください。



リクさん:20代から70代まで様々なお客さんたちが来てるんです。私が韓国ソウルの出身っていうのもあって、韓国の食べ物、K-POP、Netflixの韓国ドラマもそうだし、韓国の俳優さん、あと、韓国のイケメン軍人さんなど、韓国が好きなお客さんたちが多いです。

デリヘルくん:韓国好きの人が多いんですね。

リクさん:今は上野で韓国人のマスターがやってお店がZAZAを含めて4軒あるんです。店それぞれのコンセプトがはっきりしてます。それで、日本語が話せないお客さんがいたら紹介したりしますね。

デリヘルくん:お店同士のゆるい繋がりがりみたいなの

がある感じですかね。

リクさん:やっぱりZAZAっていうお店が韓国でも知られてるんで、(韓国からのお客さんは)まずうちに来てから、自分の好みのタイプの店を紹介してもらって行く感じ。

デリヘルくん:ここはターミナル駅みたいですわ!



Q.コンドームをきっかけにお客さんと会話になることとかはありますか?



リクさん:コンドームをお客さんに渡したら、「(サイズが)小さい」と言われて。「ほんとに?それなら見てみたい」とって(笑)

デリヘルくん:言ってる本人の大きさもわからないですからね(笑)

リクさん:そういう話がきっかけになって、「(コンドームを)よく使ってるの?」とか話したり。

デリヘルくん:店内でセックスの会話っていうのも結構あるんですか?

リクさん:そうですね、やっぱり上野に大きなハッテン場があって、遅くまでお酒を飲んだら、あそこに行ってお泊まりするっていうケースが多いから、お客さんたちが濃い話を色々してくれたりするんです。この前もお客さんがハッテン場に行って、寝ようとしたら、横にすごく立派なものがあって、「これをなんとか自分のものにしたい」ということで、ロッカーまでコンドームを取りに行って戻ったら、他の人が上に乗ってました。

デリヘルくん:せっかく育てたのに!

リクさん:「それで悔しかった、マスター聞いてよね」とってそういう話がありました(笑)



デリヘルくん:オチまでつけてくれて素敵なエピソードですね。コンドームは常に持っておいた方がいいかも。

リクさん:いつでも使えるように。13秒ルールみたいなのがあって。

デリヘルくん:13秒!?食べ物や落とした時の3秒ルールみたい。

リクさん:13秒以内にそれ(コンドーム)をつけないと、相手の人が寝るか、興味がなくなるか、もう硬さがなくなって入らないよっていうのがあって。常につける癖をつけたら、慌てないでできるんですけど。

デリヘルくん:そうですね。勃ってからじゃダメかもしれないですね。

リクさん:事前に準備するのも必要になって。

デリヘルくん:そういうHow to みたいな話があるとすごく実用的だなと思います。



ゲイバーやaktaでゲットできる



Q.8年ぶりの上野浅草版ヤローページの思い出はありますか?



リクさん:8年前、ちょうどお店をオープンして間もない時だったんですけど、店をこんなに長くやると思ってなかったんですよ。あの時ヤローページに載せていただいて、それを見てきてくれたお客さんたちも多かったんです。なので助かりました。

デリヘルくん:そう言ってもらえるとありがたいです。

リクさん:前回のヤローページはサングラスかけた写真を載せてたんですけど。あの時は(ゲイバーのママであることを)全然オープンにする気はなかつ

たんで。でも、そんな写真を見て「あ、こういう韓国人の会ってみたいな」とってということで、来てくれたお客さんたちもいたんです。



Q.ありがとうございます。最後にお店のPRなどありますか?



リクさん:10周年も来年だし…。あ、そうだ、ウチはいろんな文化活動とか、演劇やってるスタッフさんもあるし、ジャズとかクラシックとか、いろんな分野の知り合いの人たちが多いんですけど、コンサートのイベントが来年5月に韓国のソウルであります。ジャズが好きな方は、是非一緒に韓国に行って、素敵なジャズコンサートを聴いて、おいしい韓国料理食べて、イケメンたちとイチャイチャ楽しい時間を過ごせるように。あと、最後に一言。

デリヘルくん:はい、一言お願いします。

リクさん:家で1人での皆様、寂しく家で1人でないで、ZAZAに來たら幸せになります。素敵な男たちが待ってるので。海外のお客さんたちとか、今まで会ったことない新しい出会いがある店がZAZAなので。私を含めてうちのスタッフさん、優しいスタッフさんたちがいるので、そういう人たちとぜひこれから幸せな時間を作っていくように、皆さんが幸せになれるように努力します。よろしくお願いします。ここまで上野ZAZAリクでした。

デリヘルくん:ありがとうございました。



上野には経験豊富なママさんがいっぱい!!!!



- 東京都中野区大和町 1-65-4 増田ビル 2F ●TEL 03-5356-9447
- 営業時間 日～水 19:00～24:00 / 木金 20:00～翌 1:00 / 土 18:00～翌 2:00(定休日 不定休)
- X@tolampoline

“密なつながりと、新たな関わり 「この街楽だわ～」に秘められた高円寺の顔！”



とらさん

Q.aktaとの関わりは?

とらさん: 18年以上前にaktaに顔を出して、当時aktaで写真展をやった方がいて、その人の展示を見て、すごい好きな写真だったので「ぼくも趣味で写真を撮ってるんですけど、写真展やってみたいんですよ」って言ったら、そのカメラマンさんが「ここ(akta)だったら全然やらせてもらえると思うから、やってみたらいいじゃん」って言われて、ぼくそれがキッカケなんですカメラマンになったのって。

デリヘルくん: えっ!? そうだったんですか??

とらさん: そうそう。なのでその展示されてたカメラマンさんと話したことがキッカケで、aktaさんで写真展をやらせてもらって、それが一応ぼくのカメラマンとしてのスタートなんですよ。結構密でしょ?(笑)

デリヘルくん: 密う〜(笑) 写真展バージンをaktaキッカケで奪ってたなんて!

とらさん: そう(笑) その後ぼくは二丁目から離れたので、疎遠になっていたんだけど、今の

aktaのスタッフさんが、ぼくのパートナーと仲が良くって、そんなつながりもあって、また今も絡むことが増えて有り難いです。

Q.最近aktaからコンドームパッケージ素材として写真の提供依頼がありましたよね?

とらさん: これね、ずっとやってみたくてぼんやり思っていた事を、連絡いたいただいて、まじで嬉しかったです。ありがとうございます。

デリヘルくん: やってみたいと思ってたんですね?

とらさん: aktaにちょこちょこ通うようになってから、いろんな写真やイラストのコンドームを見て、こういうのってどうやって依頼くるのかな?って思ったけど(笑) 自分が撮ったものがコンドームのパッケージになるってすごいことだなと思って。そして急にコンドームの写真提供してくれませんか?って依頼がきたから「ええっ!!? 嬉しい!!」って思って。色々考えて選びました。

デリヘルくん: 二丁目にも配り始めてるし、aktaやとらんぽりんでもゲットできるので、まだゲットしていない人は是非!(急な営業)



ポップなカラーでかわゆる店内

Q.お店のコンセプトはなんですか?

とらさん: 誰でも入れるCafe & Barと謳ってて、なぜかという、ぼく元々この店で7年経ったんですけど、その前に新宿二丁目「evergreen」ってゲイバーを雇われではあったんですけどやらせてもらって。ここは自分でオーナーをやりにながら店主をやってるんですけど、自分で(お店を)やるんだったら、ゲイとかセクシュアリティに拘わらず誰でも、どのセクシュアリティの人でも入れるような店を作るっていうのをテーマにしたい。

デリヘルくん: なるほど! 店名(とらんぽりん)の由来はなんですか?

とらさん: 飛んだり跳ねたりするトランポリンと、ぼくの(名前の)「とら」を掛けてて、人生の浮き沈み、ちょっと凹んでるときとか、すごいハイなときとか、どのポジションにも寄り添えるお店にしたいというのがあって店名をつけました。

デリヘルくん: ステキ〜!!

Q.高円寺にお店を出されてみて、どうですか?

とらさん: めちゃめちゃやりやすい! そもそも高円寺で店をやったかった一番大きい理由に、ぼく高円寺によく飲みに来てたんですけど「ぼくゲイなんですよ」って話の流れで言った時に、高円寺の居酒屋の中の人とかって「とらくんゲイなんだね、高円寺ゲイ多いよね」で終わる。具体的なゲイのセックスってとか、どういう人がタイプなの?みたいなことが一切なくて。この街楽だわ〜ってずっと思ってたのがあって。実際に高円寺にお店を出して、自分がゲイですってことに対して偏見が入るようなストレートなお客さんは一切なくて「色んなカタチがあるもんね」っていう、受け止め方が人がすごく多い。それこそストレートの方が来る事に対して抵抗があるゲイの人もないし。そこはすごく目指してる場所ではあって、それには出来たかなって感じです。

Q.今後の二丁目期待することはなんですか?

とらさん: ぼくは二丁目に育ててもらったとは思っているんで、aktaさんとかでも展示とかやらせてもらって、二丁目ですと子も

お店の中に「とら」さんがいっぱい!!



していたし。だから言い方変かもしれないですけど、変に媚びないで欲しい。わたしたちが通ってた20年くらい前って、もっと密閉されていたと思うか、ゲイバーだけ女性が入れるお店が増えたけど、もっと自分たちのポリシーで、ここは本当に男性だけですって店があるとか、あんまりまろやかにしないでいいのになとは思ってた。それはぼくには出来ないからすごいなと思って。色んな人が集まる街であると同時に、ゲイじゃない環境のお店があって、そこを大事にする店があるって、みたいな、バランスがあればいいのかなとは思ってますね。

Q.ありがとうございます。最後に一言お願いします。

とらさん: 高円寺で「とらんぽりん」というお店をやってます。二丁目でも飲んで人も沢山見てくれると思うんですけど、二丁目とは違う良さが高円寺にもあるので、もし上手いバランスで使っていれば嬉しいなと思ってます。

デリヘルくん: ありがとうございます。

性の健康に関わるアンケート!!



SUMMER BLAST 2023 アンケート報告!

2023年7月15日(土)に新宿二丁目で行われたSUMMER BLASTイベントで、来場者に対して、「性の健康に関するアンケート」を実施しました。

- 有効回答：623人
- 回答者の平均年齢：35.4歳
- 東京都居住者：59%
- 外国籍の方：13%

本アンケートは、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「コミュニティセンターを活用したMSMに対するHIV感染症の有効な普及啓発に関する研究」の一環として実施されました。

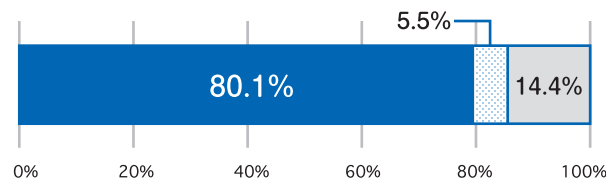
新宿二丁目の今を知る!

Q.次のことは正しいと思うか? (n=632)

■ 正しい ■ 正しくない ■ わからない

(PrEPの知識に関して)

HIVに感染していない人が、抗HIV薬を内服して、HIVの感染リスクを減らすPrEP(プレップ)という方法がある。



(U=Uの知識に関して)

HIVに感染していても、抗HIV薬によって血液中のウイルスが検出できないレベルになっている人は、セックスパートナーにHIVを感染させることはない



知識の正答率

PrEPやU=Uを知っている人たちの割合が増加している。一方で、U=UはPrEPに比べると増加がゆるやか。

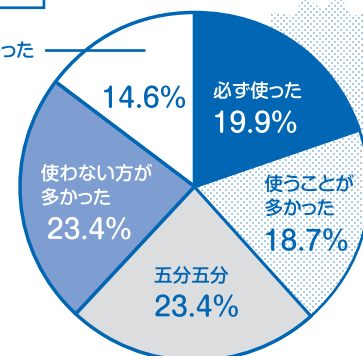
Q.過去6ヶ月の男性とのアナルセックス時のコンドーム使用状況

※男性とのアナルセックス経験者のみ対象 (n=321)

コンドームの使用状況

コンドームをアナルセックス時に必ず使う人の割合が大きく減っている。

全く使わなかった



Q.PrEP (HIV暴露前予防) の服薬経験

※男性とのアナルセックス経験者のみ対象 (n=460)

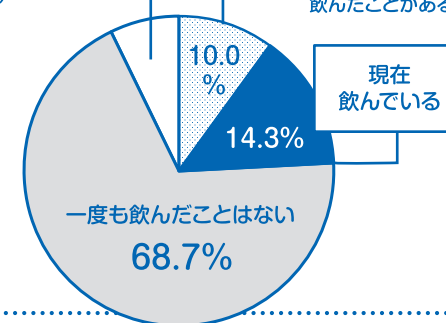
PrEP服薬経験

PrEPを現在使っている人の割合が大きく増加した。5年前の調査では、PrEPの過去6ヶ月間の使用は7.2%だった。

PrEPがわからない 7.0%

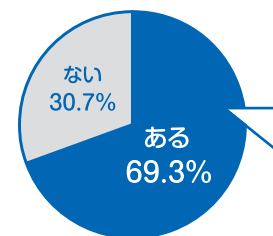
過去に飲んだことがある

現在飲んでいる



HIV検査経験

Q.これまでのHIV検査受検経験 (n=632)

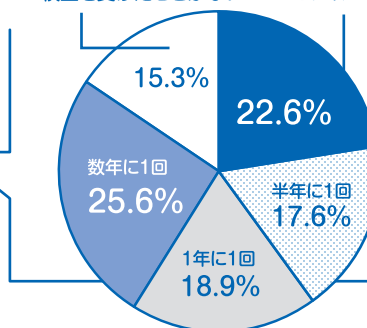


Q.HIV検査を定期的に受けているか?

※受検経験者のみ対象 (n=438)

これまでに1回しか検査を受けたことがない

3ヶ月に1回程度～それ以上の頻度



もっと詳しく調査結果が知りたい方はコチラから!!!

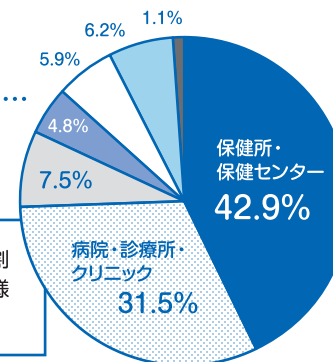


Q.直近に受けたHIV検査の種類

※受検経験者のみ対象 (n=438)

- その他 1.1%
- イベント検査会 6.2%
- 郵送検査 5.9%
- 国立国際医療センターSH外来 4.8%
- 新宿東口(南新宿)検査・相談室 7.5%

Covid-19の影響を受けつつも、定期的にHIV検査を受ける割合が大幅に増加。また保健所、クリニック、郵送検査など、多様な検査場所・方法を使っている。



「akta」の
公式YouTube
ぜひみてね!!

松岡弘明(まつおかひろあき)さん

- aktaとの連携: YouTubeチャンネルの動画編集を担当
- 所属団体: カミハグプロダクション株式会社代表取締役社長
- 連絡先: YouTubeチャンネル「カミングアウトハグ」

Q:aktaとはどのような連携をされていますか?

松岡さん:aktaのYouTubeチャンネルの映像制作のお手伝いをさせていただいておりまして、主に映像編集を担当しております。

デリヘルくん:最初に関わるキッカケはなんだったんですか?

松岡さん:キッカケ?なんやったっけ?デリバリーボーイズに参加したのがキッカケかな?で、なんか忘年会も参加したんですよ。ちょっと記憶が曖昧ですけど、そのときに映像制作をやってもらうのどうですか?と岩橋さん(NPOakta理事長)に言われた気がします。

デリヘルくん:なるほど。基本的には映像の編集を担当してもらっていると思いますが、編集するときのこだわりみたいなものはありますか?

松岡さん:えー(笑) こだわり?aktaさんの動画を編集しているときは…。ちょっと待って、なんか緊張してきちゃう(笑)

デリヘルくん:(笑)

松岡さん:ちゃんと言葉にしようと思うと緊張する(笑) HIVに関して言うと僕も知らないことがあるので、学びたいなって感覚があって。それでデリバリーボーイズとかを始めたのもあって。自分が見た時にどう言うテロップとか、どういう雰囲気や情報提供してくれたら見やすいかなって言うのは意識していて。aktaさんの動画は結構ポップな感じになっていると思うんですけど、それは僕みたいHIVのことを知りたいけど積極的じゃなくて面白いから見るって人向けに届けばいいなって想いがあります。

Q:松岡さんは普段は何をしている人ですか?

松岡さん:メインは映像制作の仕事をやっています。

デリヘルくん:どういう映像を主に撮ってるんですか?

松岡さん:今メインはLGBTQ関係のNPO団体の映像作品。あとは自分でも「カミングアウトハグ」というYouTubeチャンネルをやっておりまして、そこでは新宿2丁目のゲイバーのママに、カミングアウトストーリーをインタビューした動画だったり。あとは僕自身カミングアウトについて結構興味があるというか、母親にカミングアウトできずに癌で亡くして、すごい後悔した経験があって。もし大切な人が元気なうちにカミングアウトができるとして、どうやらうまくいくもんのか心理学や本読んで研究したり、いろんな話を聞きながらまとめたものを「カミングアウトに役立つポイント」としてYouTubeで発信したりとかしています。

Q:プライドハウス東京レガシーのスタッフもされてますよね?

松岡さん:はい。

デリヘルくん:やはりはじめたキッカケは?

松岡さん:2018年くらいに編集を教えてくれた師匠的な人の結婚式がアメリカ合衆国のサンタフェの方にあって呼ばれたんですよ。で、せっかくだから帰りにサンフランシスコに行こうって思っ。サンフランシスコにLGBTQセンターがあるってことは事前に聞いてたから行ってみようと思って。ビル全体が5階建くらいなんですけど、ユースのエリア、相談エリアとか、違う国からきた人が交流できるスペースとか1箇所でもとられて、日本だといるんなところを点にしている時だったんで、こんなあるんや!すごいってなって。日本でもこういうのするタイミングあったら関わりたいとその時思ったのがキッカケでした。

デリヘルくん:美味しいコーヒーが飲めるって聞きました(笑)

松岡さん:aktaさんの雰囲気作りを参考にしています。

デリヘルくん:そうなんですか。

松岡さん:ふふふ(笑)

Q:最後に一言お願いします。

松岡さん:aktaのYouTubeチャンネルを引き続きポップな感じで、親しみやすくHIVだったり性感染症について知れる番組にしていけるように、映像編集もですけど関わってきたいと思うんで、是非みてください。

デリヘルくん:ありがとうございました。

- aktaとの連携: デザイン制作(資材・バーナー)
- 所属団体: LONELINESS BOOKS
- 連絡先: qpptokyo.com

クィアや
ジェンダーの本
見に来てね

沼見陽(かたみよう)さん

Q:aktaとはどのような連携をされていますか?

沼見さん:広報資料のデザインで関わっています。

デリヘルくん:一番最初のaktaとの関わりは?

沼見さん:最初かどうかかわからないけど、いろんなイラストレーターや、ゲイコミック作家の人達の絵をカードにして、HIV啓発につなげる感じのカードデザインをやったのは覚えてます。

デリヘルくん:HIV/エイズに関して、どのような印象を持たれていますか?

沼見さん:元々京都なんですけど、京都にいてゲイとして動き始めた頃に、最初の入り口は僕はMETROってクラブだったんですけど、当時CLUB LUVっていうエイズ・セックス・セクシュアリティをテーマにショータイムやトーク、ダンスタイムで構成された。そういうイベントがあった。そこが初めてゲイカルチャーにハマったイベントだったし、最初の入り口がHIVに関わったイベントだったんです。そこに行くとかアカデミックっていうか、面白い、こういう考え方でsexとかHIVのこととかを考えている人がいるんだって刺激もあったし、入り口がそれだったので、横にあるものみないな。とは言え、僕シャイなんで、自分がすごいsexするからHIVのことを意識するっていうよりは、周りにそういう人たちがいっぱいいて、周りから影響を受けてました。

Q:沼見さんは普段は何をしている人ですか?

沼見さん:メインはグラフィックデザインで、主に映画のポスターだったりパンフレットだったりを作っている。映画に関わる仕事が多いです。

デリヘルくん:デザインのお仕事以外でされていることはありますか?

沼見さん:今は本屋をやっていて、2019年の東京レインボープライドの時に、ブースを何人かで出したのがキッカケなんですけど。

デリヘルくん:どんな本屋さんなんですか?

沼見さん:簡単にいうとアジアで作られているクィアだったリジェンダーだったりに関する本とか、Zineって言って本より簡易に個人の作家さんが作ったりするものだったりを取り扱っている本屋です。他にもそれだけじゃないんですけどね。店舗があるわけじゃないから、オンラインがメインなんですけど。儲けは別として反応があるっていうのが楽しい。

Q:お店にも入られているんですか?

沼見さん:今TAC'S KNOTでバイトしてるんですよ。

月水で入ってるんですよ。2丁目じゃなくて3丁目ですけど。

デリヘルくん:お店に入ろうと思ったキッカケはあったんですか?

沼見さん:元々お客で時々行ってたんですけど、なんかその水曜日に入っていた方が入れなくなっちゃったんで、代わりの人でタックさんから声をかけていただいてビックリしました。

デリヘルくん:普段ゲイバーにはよく行かれてるんですか?

沼見さん:ゲイバー苦手なんです。

デリヘルくん:えっ(笑)

沼見さん:あんまり2丁目は行かなかったんですけど、地方に旅行に行ったときに飲みに行くんです。とあるゲイバーですごい満員で盛り上がってるんですけど、僕そういう場に馴染めないんですよ。で、黙ってたら「暗いわね」「もっと楽しそうな顔したら?」って言われて。それがすごいトラウマで。もちろんいい思い出があるバーもありますよ。街のこととか案内してもらったり。そういういい思い出もいっぱいあるんですけど、どっちかって言うとトラウマのイメージが強くて、あんまり合わないんだと思います。

デリヘルくん:でもそんな沼見さんだからこそ、気を使わずに過ごせる空間が提供できそうですね。今度行ってみようかな。

Q:最後に一言お願いします。

沼見さん:色々ありますけどね。本屋とTAC'S KNOTを知ってもらえたら嬉しいです。ちなみに本屋の名前はLONELINESS BOOKS(ロンリネスブックス)って言います。

デリヘルくん:ありがとうございました。



イロタカさん

セックス
ミュージアムで
見方が変わる
!!!?

- aktaとの連携: 臨時スタッフ/デリバリーボーイズ
- 所属団体: セックスミュージアム設立準備委員会
- 連絡先: <https://sexmuseumjp.com/>

Q.aktaとはどのような連携をされていますか?

イロタカさん: 最初はデリバリーボーイズに参加をするところから関わるようになって、その後「セックスミュージアム」としてスペースを借りて展示をさせていただいて。そこから臨時スタッフにいらしていただくようになりました。

デリヘルくん: そんなaktaとの関わりの中で印象に残っている事はありますか?

イロタカさん: そうですね、デリバリーボーイズで配っていた時に、「陽性ってわかったんですけど、aktaさんってどこにあるんですか?」みたいな事を聞かれたことがあって、すごく言いづらいことを言っていただったので、わたしはそういう活動をしているんだなあってそのとき思いました。

Q.セックスミュージアム設立準備委員会って?

イロタカさん: 性の学際的な博物館を作りたいと思って活動している任意団体になります。元々はジェンダー・セクシュアリティってところに関心があったんですけど、日本のLGBT運動にモヤモヤとしたものを感じていたときに、LGBT運動の転換期でもあるニューヨークのプライドパレードを見に行ってみようと思って行った時に、たまたま地球の歩き方に「ミュージアムオブセックス」という性の文化人類学の性の博物館があるのを知ったんですね。ミュージアムオブセックスに行ったら、アメリカの初めてのボルノ女優の歴史が、女優視点とフェミニスト視点で分析がされていたりとか。色んな多角的な視点で性行為を取り扱っている展示を見て、わたしジェンダー・セクシュアリティやっているけど、セックスの視点が抜けているかもしれないってそのとき思ってた。それからセックスの方に目を向けたようになって思った時に、セクシュアルマイノリティとはちょっと違うかもしれないけど、

性行為の周りと変態の部類に入る人たちっていうのが、摘発の対象になったりとか、差別って本人たちは認識していないけど、侮蔑というか、アングラとして見られていることについて、あんまりそこに対しては「そういうものだ」という認識を持っていて。わたしはニューヨークのプライドパレードだってゲイバー摘発の反発から始まったし、そこに対しておかしいって思う気持ちが出てきてもおかしくないんじゃないかって思って。なんでわたしはそんな風に考えられるようになったのかなって思ったときに、あ、ミュージアムオブセックスで色んなセックス見たからだって。そういうところからセックスミュージアムをやりたいなって思ったのがキッカケですね。

Q.イロタカさんの名前の由来は?

イロタカさん: これは「色が豊か」で「イロタカ」なんですけど。基は春画展って展示会があって、春画を描いていた人たちの春画ネームとかが出てたんですね。そういう風に浮世絵を描いていた人たちは別の名前を使ってたんだって知って。自分も名前を考えたときに、春画ネームから取ってみようかなって思って、葛飾北斎がすごい有名な春画ネームを調べたら「鉄棒ぬらぬら」だったんですよ。鉄棒ぬらぬらだと、わたし「マ〇コぬれぬれ」とか考えて、これ絶対に話取り合ってもらえないだろうなと思って(笑) もうちょいマシなやつで、知名度の高い人だと思ってたら「歌川広重」の春画のときの名前が「歌川色重」だったんで、わたしは色を豊かにしようと思って。なので歌川広重さんから取ってきてます。

デリヘルくん: そんな由来が!!(笑)

イロタカさん: そう、あと色と豊かを漢字一文字にすると「艶」って字にもなったり、いいかも!カラフルでエロいと思って(笑) ただイロタカって発音しづらいみたいで、海外の人には「エロティカ」って呼ばれる事があります(笑)

Q.最後に一言お願いします。

イロタカさん: セックスミュージアムでは、ボランティアも寄付も寄贈も募集していますので、興味がある方はよろしくお願いします。aktaにも是非来て下さい。

デリヘルくん: ありがとうございます。



- aktaとの連携: クラブイベントコラボ
- 所属/肩書き: クラブイベントオーガナイザー/DJ
- 主催イベント: SWITCH (X@switch_aiso)

Q.aktaとはどのような連携をされていますか?

MASAOさん: 5年位前にAISOの12月のパーティーでオリジナルドリンクを飲んでくれた人には世界エイズデーも近かったので、売り上げの何%かをaktaに寄付して貢献しよう!って企画をやって、それからaktaが協催しているイベントでのDJのオファーを貰ったり、関わりが層濃くなりました。それで、僕がオーガナイズするイベント「SWITCH」の15周年パーティーで、おてんばポーチってハッテン場やセックスする相手に会う時にコンドームやオイル等入れるポーチをプレゼントするって企画が決まって、aktaと軽くコラボ出来ないかな?と相談したらとんとん拍子に話しが進んで、今の所AISOにaktaブースを作るまでになってます(笑)

Q.デリバリーボーイズの活動にはどのような印象を持っていますか?

MASAOさん: とっても素晴らしい活動だと思いますよ。BARやCAFEやCLUBで気軽にコンドームをゲット出来て。僕にはそんな体験は無いんですが、BARでたまたま出会って出来ちゃった時にサッと持って帰れて安心ですよね〜(笑)

デリヘルくん: aktaが作成しているコンドームの印象は?

MASAOさん: 20年位前かな? 青いパッケージで「やる?」ってデザインされてるコンドームがあって、可愛いGOGOから一般の人までそれ持って自撮りするのが流行ってて。CLUBでもaktaさんのコンドーム置いてたので「やる?」のコンドーム使ってGOGOのモノマネしたりして遊んでました(笑)

デリヘルくん: そんなブームがあったんですね(笑) 「やる?」のコンドームはBARで人気投票した時に一番人気でした!

MASAOさん: 認知度高かったよね、インパクトもあったし。「やる?2023」を作って(笑)

デリヘルくん: いいですね!検討しておきます(笑)

Q.SWITCHのイベント名の由来は?

MASAOさん: 開催が月曜日なので、多くの人は「だるい」とか「憂鬱」と感じる気持ちを「スイッチ」して、ガンガン踊って飲んで気分を変えていこうって意味を込めて。

デリヘルくん: なるほど!

MASAOさん: 元々変な名前前でスタートしてたんだけど、若手DJが変な名前前でクレジットされちゃうと可哀想だなってことで名前を変えたの(笑)



DJ MASAO(まさお)さん

クラブで
出会いや
ゲイライフの
楽しさを!!

デリヘルくん: そーだったんですね(笑)

MASAOさん: その頃「渦巻き」とか、日本語タイトルのパーティーがすごい多くて。なので当初は日本語タイトルのイベント名にしてたんですけど、今は恥ずかしいので言わないですけど(笑)

デリヘルくん: すごい気になるっ(笑)

MASAOさん: 気になる人は個人的に聞いてください(笑)

デリヘルくん: (笑) イベントとしての拘りなどはありますか?

MASAOさん: 自分は、DJだけでなくライティングもやってるんです。DJだから曲を知ってる分、より細かい正確なライティングが出来るんで、二丁目1番攻撃的なライティングのパーティーって個人的に呼んでいます。

デリヘルくん: おお!音だけでなく、目でも楽しめるんですね!!

MASAOさん: そう!出来れば五感で楽しんで貰いたくて、聴覚(DJの音)・視覚(ライティング)・味覚(ドリンクやおやつ)・嗅覚(アロマオイル)って、色々やってるんですが触覚だけは提供出来ないんで、お客様同士で触れ合って貰えば幸いです(笑)

デリヘルくん: SWITCHに今後どんな人に来てもらいたいですか?

MASAOさん: クラブってどんなところだろう?ってクラブ初心者の方から、クラブ大好きな人にも来て欲しいし、お酒飲みたいうってお酒好きな人も来て欲しいですね。僕はお酒飲めないんで、ソフトドリンクでも全然OKな雰囲気です!とりあえず入場無料なので、気軽に来てもらいたいですね。

デリヘルくん: ありがとうございます。

DELIVERY BOYSってなに?



新宿二丁目で
コンドームとセクシュアルヘルスの
役立つ情報を届ける!
「DELIVERY BOYS」に参加してみませんか?

デリバリーボーイズは、毎週金曜日20時頃からお揃いのユニフォームを着て新宿二丁目に飛び出し、
コンドームをはじめ、セクシュアルヘルスに関する役立つ情報をお届けするボランティア活動です。
どなたでも、1回のおみの参加でも大歓迎!!

DELIVERY BOYSの3つのポイント

✓ いろんなお店に入れる!!

2024年6月現在で165店舗のBARやクラブにコンドームアウトリーチ(配達)を行っています。その中にはさまざまなジャンルのお店があり、一度にいろんなお店の雰囲気を楽しめるのは、デリバリーボーイズならではの醍醐味! 普段行かないお店や、気になっていたお店もチェックすることができるかも!?

✓ 多様なメンバーが活動!!

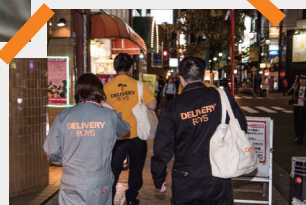
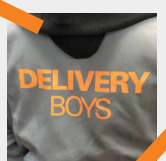
毎年約70人が登録、これまでに200人以上の人たちが参加しています。10代~50代の年齢やセクシャリティ、職業や立場も様々な人たちが参加して、サークル感覚で活動しています。※活動時間の都合上、参加できるのは18歳以上(高校生はNG)となります。

✓ 勉強会でステップアップ!!

月に1回、知識やリアリティをアップデートするための会を実施しています。イベント「デリフェス」を企画・開催したり、スタッフ同士の交流会、テーマを設けたディスカッションなどもやってます。



二丁目を
歩くと「映え」で
声をかけられる
ことも♡



お揃いのソナギや
Tシャツがかわいく
これ目当てに参加する
ボランティアさんもたくさん♪

「DELIVERY BOYS」に参加するには?

akta DELIVERY BOYS 検索 で検索しよう!!

右のQRコード、
もしくは「akta DELIVERY BOYS」で検索!!
「ボランティアに応募する」より、ガイドライン
を読んだ上で必要事項を記入して送信。電話
やメールからの連絡、直接aktaに来館して参
加意思を伝えてもOK!!



コンドームの説明・コンドーム設置条件

現在までにaktaが作成した
コンドームパッケージの種類はなんと約300種類!!



どのパッケージが好き?

aktaのコンドームは、ゲイコミュニティの中でも人気のあるイラストレーターさんや、モデルとのコラボを行って作成してきました。他にもロゴタイプやデザイン重視のものであったり、メッセージ性の強いコンセプトualのものであったりと、様々なニーズに合わせてパッケージを作成しています。
コンドームはセーフターセックスのアイテムとして、多くの方に使ってもらいたいものではありますが、セックスや、様々な会話のキッカケのツールとして使ってもらえたら嬉しいです。

コンドーム設置を考えているお店の方へ

現在デリバリーボーイズでは、コンドーム設置に関して下記の事をお願いしております。ご希望の方は、お電話またはメールにてご連絡頂くか、直接aktaへ訪問の際にお気軽にお声がけ下さい。

TEL 03-3226-8998

MAIL office@akta.jp



コンドームBOX付き!!

- 活動の趣旨を理解した上で、自ら設置希望をお伝え下さい。
- 活動の範囲として、新宿二丁目を中心とした周辺店舗のみとなります。(一部新宿三丁目、五丁目含む)
- コンドームと一緒に募金箱の設置をお願いしています。
- 毎週金曜日(第三週目を除く)の20時~22時くらいの間に、ボランティアスタッフが訪問致しますので予めご了承下さい。

設置時にお願いしていること!!

コミュニティセンターaktalは、新宿二丁目にあるHIVをはじめとしたセクシュアルヘルス（性の健康）に関する情報センター＆フリースペースです。どなたでも無料でご利用いただけます。

コミュニティセンターaktalは、新宿二丁目にあるHIVをはじめとしたセクシュアルヘルス（性の健康）に関する情報センター＆フリースペースです。どなたでも無料でご利用いただけます。

特に用事はないけど”
ふらっと寄ってみてのんびり。
お茶をしながら待ち合わせ。
遊びに行く前にちよと休憩...
過ごし方はあなた次第! 🌸

デジタル
≡ 3000 円

HIV・梅毒の
郵送検査キット
サーファセックスキ
を販売しています

二丁目関係の情報収集も
バツ千リ♡

白い壁はギラリスペース。
展覧会やってみませんか?(無料!)

気軽に相談できる
スタッフがいます
(HIVのサポート情報の
提供や相談もできます)

いたところ3にパンフレットが。
PrEP, HIV性感染症の
情報も充実

コトでもってる?
色々なパッケジが
登場するので
お楽しみに!

一人で座って
ゆっくりできる
スペースも
(充電できず)
ゲイ雑誌や漫画
セクシュアリティ関連の
資料も充実。
HIV陽性者の手記も

※ただし貸切はできません。ご希望の方はまずaktaまでご相談ください。

※社会的情勢等の影響により、対応が変更となる場合がございますので、ウェブサイト(info@akta.jp)やSNSなどでご確認下さい。

aktaでは個性豊かなスタッフが働いています!!

初めての来館時や、館内利用にてお困りの際にサポートいたしますので、
ぜひお声がけください(^^) お問い合わせ



スタッフインタビューは
こちらから
お読みいただけます



岩橋

コミュニティセンターakta
センター長

(主な勤務日：木金土日)

DELIVERY BOYS

リーダー

K.D.

お客様
コミュニティセンター-akta

あくとく

ご来館
お待ちしております
おります!!

ともひろ

- ・現実主義者
- ・気まぐれタイプ

(主な勤務日:金)

メア犬
・エレメントは火
・時々詩人
主な勤務日: 月)

イロタカ
・セックスミュージアム
・色が豊かでイロタカ

・語学が堪能

(主な勤務日:ピンポイント)

てつを (主な勤務日: 金工)

- ・汗の量がすごい!
- ・早寝早起きが好き

第38回 The 38th Annual Meeting
of the Japanese Society for AIDS Research
日本エイズ学会
学術集会・総会

第38回日本エイズ学会学術集会

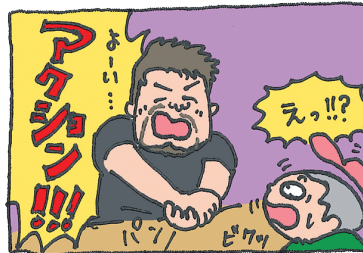
11月28日(木)~30日(土)

今年11月末、新宿で開催される第38回日本エイズ学会学術集会!2030年のAIDS流行終結を目指して、「AIDS関連の差別・偏見ゼロ」、「AIDS発症者をゼロ」、「HIV新規感染者をゼロ」の3つのゼロ目標に、U=U、新しい検査機会、PrEPなどの熱い議論にも注目です。また学会にあわせて、パーティ・イベントも現在企画中です。いつもお世話になっているみなさんとともに、学術集会を盛り上げます!!

日本エイズ学会 学術集会・総会 <https://www.aids38.jp>

(その①)

デリヘルくん



(その②)

デリヘルくん



過去akta monthly scheduleにて掲載していた4コママンガ「デリヘルくん」(2007年4月号～2010年9月号まで)

デリバリーボーイズの活動を通しての様々な出来事をおもしろおかしく描いています。前回同様、今回もBARインタビューでの裏側ネタとして、誌面では覗けない一面を描き下ろし4コマにてお届けします♪

※過去の4コママンガは、デリバリーボーイズwebページにて読むことができます。http://akta.jp/delivery-boys/4coma/



編集後記



●vol.1, vol.2と大変好評いただいている中、待望のvol.3を発行することができました!

2017年8月~2024年1月まで続いたこのインタビュー

シリーズは、一旦完結となりますが、この約7年間で本当に沢山のバーや、関係者のみなさんがインタビューに協力してくれました。インタビューを通して本当に様々な考え方や、価値観、経験のお話を聞くことができ、自分自身もとても勉強になりました。改めまして、ありがとうございます! それではみなさん、またいつかお会いできる日まで!(デリヘルくん)

●インタビュー冊子の3冊目

がめでたく出版されました。これまでもそうですが、インタビューに関わった皆さんに、この冊子を届けることが出来たらどんなに嬉しいだろうかと思います。皆さんに届けられるまで、長い時間がかかると思います。受け取ってくれた皆さんと、いつか収録時の想い出が話せたらと思います。出会のツールはゲイバーだけじゃないですが、ゲイバーにしかない出会い方はあるんじゃないかと、実感するこの頃です。ゲイバーは、死んだらいけなくなるんですよ。今のうちだぜ!(デバヘルくん)



●私は直接インタビューには伺っていませんが、今回の編集に携わってインタビューから様々なことを知ることが出来ました。

このインタビューは双方向のコミュニケーションを取れる大事な機会であり、デリバリーボーイズをしていることの影響や印象などを実際に関わっている方から聞けるのはとても素敵だと思いました。aktaのホームページではインタビューのフルバージョンをご覧いただけますので、気になるお店があれば是非読んでみてください!!(デコヘルくん)

akta monthly schedule 特別編集 デリヘルくんが聞く! 突撃インタビュー!! Vol.3

発行日: 2024年6月
企画・発行: akta
進行管理: 木南拓也
編集・デザイン: 村上ひろし
イラスト: 木南拓也
協力: 湯見陽、藤原孝大、てつを
問い合わせ: community center akta
〒160-0022
東京都新宿区新宿2-15-13 第2中江ビル301
TEL: 03-3226-8998
FAX: 03-6380-0575
E-mail: office@akta.jp

この冊子は、2024年度 厚生労働省委託事業
「同性愛者等向けコミュニティセンターを活用した広報等一式」で
作成されました

※このインタビューは、
2024年1月までに掲載していたものをそのまま掲載しています

無断コピー・転載お断り



community center akta

東京都新宿区新宿2-15-13 第2中江ビル301
開館: 15:00 - 21:00
(月・火・水・年末年始除く)
問合せ: office@akta.jp
TEL: 03-3226-8998
FAX: 03-6380-0575
URL akta.jp
X(旧Twitter) @akta_info



HIVマップ
すぐに役立つHIVの情報サイト



ゲイ・バイセクシュアル男性をはじめ、全ての人にすぐに役立つ予防・検査・相談・支援の窓口や基礎知識など。